

經 濟 学 部

履 修 要 項

昭 和 57 年 度

駒 澤 大 學

学 年 曆

前 期

- 4月8日(木) 祝尊降誕会
 10日(土) 入学式(学部・短大・大学院)
 12日(月) } 新入生オリエンテーション
 14日(水) }
 13日(火) } 在校生成績発表
 (学部・短大・大学院)
 14日(水) }
 15日(木) } 授業開始
 17日(土) } 在校生成績質疑応答
 21日(水) }
 } 1年次生単位履修届受付
 22日(木) }
 23日(金) } 2・3・4年次生
 29日(木) } 天皇誕生日 } 単位履修届受付
 30日(金) } (学部により受
 } 付日が異なる)
 5月1日(土) 祝禱日
 3日(月) 憲法記念日
 4日(火) 研修日(全学休業)
 5日(水) こどもの日
 19日(水) }
 } 2・3・4年次生健康診断
 28日(金)
 6月1日(火) 祝禱日
 10日(水) 卒業論文論題提出〆切
 7月1日(木) 祝禱日
 12日(月) } 中間試験
 15日(木) } 孟蘭盆会 } (授業平常通り)
 17日(土) }
 19日(月) } 前期定期試験(前期終了科目)
 (授業休講)
 20日(火) }
 21日(水) } 夏期休暇第1日

後 期

- 9月13日(月) 授業再開
 14日(火) 前期定期試験欠試届(追試申込)
 提出〆切
 15日(水) 敬老の日
 16日(木) 外国語指定届受付(22日まで)
 (仏教・文(除英米文)・法学部
 及び短大國文の1年次生、経
 済学部の2年次生)
 16日(木) } 前期定期試験成績発表および
 } 再試験申込受付
 17日(金) }
 23日(木) } 秋分の日
 27日(月) } 前期追・再試験(授業平常通
 } り)
 28日(火)

29日(水) 両祖忌

- 10月1日(金) } 社会学科(1年次生)・
 } 祝禱日 } 歴史学科(2年次生)・
 } 専攻コース指定届受付
 2日(土)
 4日(月) }
 5日(火) } 達磨忌 } 1年次生健康診断
 7日(木) }
 10日(日) } 体育の日
 15日(金) } 第100回開校記念日
 16日(土) } (全学休業)
 19日(火) }
 } 前期追・再試験成績発表
 20日(水)
 11月1日(月) 祝禱日
 3日(水) 文化の日
 21日(日) 登山禪師降誕会
 23日(火) 勤労感謝の日
 12月1日(水) 祝禱日 } 転部科試験願書受付
 3日(金) }
 6日(月) } 編入学願書受付(14日まで)
 8日(水) } 成道会
 10日(金) } 卒業論文提出〆切(正午)
 10日(金) } 転部科試験
 20日(月) } 冬期休暇第1日
 21日(火) } 編入学試験

昭和58年

- 1月10日(月) 授業再開
 15日(土) 成人の日
 17日(月) } 定期試験(専門・基礎・教職
 } 科目)
 27日(木) }
 26日(水) } 道元禪師降誕会
 28日(金) }
 2月1日(火) 祝禱日 } 定期試験(一般・外
 } 国語・体育科目)
 5日(土) }
 7日(月) } 定期試験欠試届提出〆切
 8日(火) } 卒業論文口頭試問(後日掲
 } 示発表)
 11日(金) } 建国記念の日
 15日(火) } 涅槃会
 21日(月) } 学部4年次生・短大生成績発
 22日(火) } 表および追・再試験申込受付
 28日(月) } } 学部4年次生・短大
 } 生追・再試験、学部
 3月1日(火) 祝禱日 } 1・2・3年次生追試
 } 験
 5日(土) }
 19日(土) } 卒業者名簿発表
 21日(月) } 春分の日
 25日(金) } 卒業式・大学院修了式

目 次

I	単位制と学年制	(2)
	1. 単位と学年	(2)
	2. 授業科目の単位計算	(2)
	3. 授業科目の区分	(2)
II	卒業に必要な単位数と学士号	(3)
	1. 卒業に必要な単位数	(3)
	2. 学 士 号	(5)
III	授業科目の履修方法	(5)
	1. 一般教育科目の履修方法	(6)
	2. 外国語科目の履修方法	(6)
	3. 保健体育科目の履修方法	(9)
	4. 基礎教育科目の履修方法	(11)
	5. 専門教育科目の履修方法	(12)
	6. 随意科目の履修方法	(18)
	7. 再履修科目の履修方法	(18)
	※コード番号について	(19)
IV	履修科目の登録(履修届)とその作成順序	(22)
	1. 履修科目の登録	(22)
	2. 履修届記入上の注意	(23)
	3. 履修届の作成順序	(24)
V	試験および成績評価	(25)
	1. 定期試験	(25)
	2. 中間試験	(25)
	3. 追・再試験	(25)
	4. 成績評価・単位認定	(26)
	5. 進級基準	(26)
	6. 受験者心得	(26)
VI	クラス制およびクラス主任	(28)
VII	教職課程・資格講座	(28)
VIII	事務取り扱いについて	(29)
IX	届書・願書について	(31)
X	各種証明書取扱い窓口	(32)
	講 義 内 容	(38)

I 単位制と学年制

1. 単位と学年

授業科目の履修は「大学設置基準」に基づく単位制によって行う。単位制とは、授業科目を履修することにより、各授業科目に一定の基準によって与えられている単位を修得することである。従って、各入学年度の履修要項に定められている卒業に必要な単位を4年以上（7カ年をこえてはならない）の在学期間中に修得すれば卒業の資格が得られる。

しかしながら、本学では単位修得を体系的かつ合理的に進めるために、各年次において必修すべき科目と選択すべき科目が配当されているから、単位制と学年制の総合された学修制度といえる。

2. 授業科目の単位計算

授業科目の単位数は次のような基準によって定められている。

1 単位とは、1科目につき45時間を通じて行う学修活動のことである。この45時間の学修活動は、教室内における授業時間と教室外で学生各自が自主的に行う自習時間からなっていて、授業時間と自習時間の割合は、授業科目によって異なる。

3. 授業科目の区分

授業科目は次のように区分される。

1. 一般教育科目（人文分野・社会分野・自然分野）
2. 外国語科目（第1外国語・第2外国語）
3. 保健体育科目（講義・実技）
4. 基礎教育科目（必修科目）
5. 専門教育科目（必修科目・選択科目）
6. 随意科目（卒業に必要な単位に含まれない科目）

(a) 必修科目……必ず履修しなければならない科目

(b) 選択必修科目……数科目の中から所定の科目数または単位数を選び、必ず履修しなければならない科目

(c) 選択科目……自由に選び履修できる科目

Ⅱ 卒業に必要な単位数と学士号

1. 卒業に必要な単位数

経済学科

A. 56年度以降の入学生に適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一般教育科目	人 文 分 野	4	16	36	146以上
	社 会 分 野	3	12		
	自 然 分 野	2	8		
外国語科目	第 1 外 国 語	5	10	18	
	第 2 外 国 語	4	8		
保健体育科目	講 義	1	2	4	
	実 技	1	2		
基 礎 教 育 科 目		1	4	4	
専門教育科目	必 修	3	12	84	
	選 択	18	72		

B. 55年度以前の入学生適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一般教育科目	人 文 分 野	4	16	36	146以上
	社 会 分 野	3	12		
	自 然 分 野	2	8		
外国語科目	第 1 外 国 語	4	8	14	
	第 2 外 国 語	3	6		
保健体育科目	講 義	1	2	4	
	実 技	1	2		
基 礎 教 育 科 目		1	4	4	
専門教育科目	必 修	4	16	88	
	選 択	18	72		

商 学 科

A. 57年度入学生適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一般教育科目	人 文 分 野	4	16	36	146以上
	社 会 分 野	3	12		
	自 然 分 野	2	8		
外国語科目	第 1 外 国 語	5	10	18	
	第 2 外 国 語	4	8		
保健体育科目	講 義	1	2	4	
	実 技	1	2		
基 礎 教 育 科 目		1	4	4	
専門教育科目	必 修	3	12	84	
	選 択	18	72		

B. 56年度入学生適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一般教育科目	人 文 分 野	4	16	36	146以上
	社 会 分 野	3	12		
	自 然 分 野	2	8		
外国語科目	第 1 外 国 語	5	10	18	
	第 2 外 国 語	4	8		
保健体育科目	講 義	1	2	4	
	実 技	1	2		
基 礎 教 育 科 目		1	4	4	
専門教育科目	必 修	1	4	84	
	選 択	20	80		

C. 55年度以前の入学生に適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	4	16	36	146以上
	社会分野	3	12		
	自然分野	2	8		
外国語科目	第1外国語	4	8	14	
	第2外国語	3	6		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	1	2		
基礎教育科目		1	4	4	
専門教育科目	必修	2	8	88	
	選択	20	80		

2. 学 士 号

大学に4カ年以上（7カ年をこえてはならない）在学し、卒業に必要な単位を修得した者には卒業証書を授与し、次の学士の称号が与えられる。

経済学科……経済学士 商学科……商学士

III 授業科目の履修方法

※北海道教養部では、授業科目等に多少の変更を生ずる場合がある。

授業科目履修上の注意

- イ. 授業科目は、教授会の定めるところに従い各学年に配分する。ただし、随意科目はこの限りではない。
- ロ. 授業時間表の備考欄に番号が指定された科目は本人の学生番号のクラスで履修すること。（再履修または指定された学年で履修できなかった場合はこのかぎりではない）
- ハ. 各学年に配分された授業科目は、当該学年に限り履修することができる。ただし、下級学年に配当された授業科目を上級学年において履修することはさしつかえない。
- ニ. 各学年の履修科目数の最低および最高限度は、教授会の定めるところによる。
- ホ. 一度単位の認定を受けた授業科目は再度履修することはできない。

1. 一般教育科目の履修方法

イ. 一般教育科目は1年次および2年次の2年間に人文分野・社会分野・自然分野の各分野から定められた科目数・単位数を履修しなければならない。

ロ. 「宗教学Ⅰ」を1年次「宗教学Ⅱ」を2年次で必修とする。

ハ. 2年次までに所定の科目数・単位数を修得していなければならない。

人文分野	4単位ずつ4科目	計16単位	} 合計9科目 36単位
社会分野	4単位ずつ3科目	計12単位	
自然分野	4単位ずつ2科目	計8単位	

分野	授業科目	単位	履修科目数	修得単位	計	備考
人文分野	宗教学Ⅰ (1年次必修)	4	「宗教学Ⅰ・宗教学Ⅱ」の科目を含めて4科目選択必修	16	36	
	宗教学Ⅱ (2年次必修)	4				
	哲学	4				
	論理学	4				
	倫理学	4				
	文法史学	4				
社会分野	法学憲法 (日本国憲法2単位を含む)	4	3科目選択必修	12	36	教員免許状を取得しようとは「法学憲法」を必修とする
	政治学(2年次)	4				
	社会学(2年次)	4				
	地学	4				
	統計学	4				
自然分野	文化人類学	4	2科目選択必修	8		
	自然科学概論	4				
	数学心理学	4				

※「宗教学Ⅰ」の授業は火曜日に玉川校舎(道順は学生部で配布の学生手帳を参照)で行う。

2. 外国語科目の履修方法

外国語科目は英語・独語・仏語・中国語・スペイン語・ロシア語の6カ国語が開講されている。これらのうち英語と入学手続の際に指定した外国語の2カ国語を履修することになり、その2カ国語を1・2年次および3年次(56年度以降入学生)において必要な科目数・単位数を必ず履修しなければならない。

履修年次	第 1 外 国 語		第 2 外 国 語	
	科 目 数	単 位 数	科 目 数	単 位 数
1 年 次	2(2) 科 目	4(4)	2(2) 科 目	4(4)
2 年 次	2(2) 科 目	4(4)	2(1) 科 目	4(2)
3 年 次	1 科 目	2	—	—
計	5(4) 科 目	10(8)	4(3) 科 目	8(6)

※()内の数字は55年度以前の入学生に適用。

1年次の履修

6カ国語のうち英語1G・1Rの2科目と入学手続の際に指定した外国語1G・1Rの2科目で計4科目8単位を必修とする。

授 業 科 目	単 位	科 目 内 容	履修科目数	備 考
英 語 1G	2	文 法	1G・1R2科目を必修とする。ただし英会話もしくは英語Lで2科目中の1科目を代替できる。	LL(ランゲージ・ラボラトリー)
” 1R	2	講 読		
英 会 話	2			
英 語 LL	2	視聴覚教材を使用した語学教育		
独 語 1G	2	文 法	5カ国語のうちから入学手続の際指定した1カ国語1G・1R2科目を必修	
” 1R	2	講 読		
仏 語 1G	2	文 法		
” 1R	2	講 読		
中 国 語 1G	2	文 法		
” 1R	2	講 読		
スペイン語 1G	2	文 法		
” 1R	2	講 読		
ロシア語 1G	2	文 法		
” 1R	2	講 読		

※「英語1R」の授業は火曜日に玉川校舎で行う。

A. 56年度入学生適用

2年次の履修

1年次で履修の2カ国語（英語と他の1カ国語）を、それぞれ2AⅠ・2AⅡの2科目ずつ計4科目8単位を必修とする。

授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
英 語 2 A Ⅰ	2	} 2科目必修	独 語 2 A Ⅰ	2	} 1年次で履修した1カ国語2科目必修
英 語 2 A Ⅱ	2		独 語 2 A Ⅱ	2	
		仏 語 2 A Ⅰ	2		
		仏 語 2 A Ⅱ	2		
		中 国 語 2 A Ⅰ	2		
		中 国 語 2 A Ⅱ	2		
		スペイン語 2 A Ⅰ	2		
		スペイン語 2 A Ⅱ	2		
		ロシア語 2 A Ⅰ	2		
		ロシア語 2 A Ⅱ	2		

3年次の履修

1・2年次で履修の2カ国語のうち、いずれか1カ国語を第1外国語とし3Aを1科目2単位必修とする。

第1外国語

授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
英 語 3 A	2		中 国 語 3 A	2	
独 語 3 A	2		スペイン語 3 A	2	
仏 語 3 A	2		ロシア語 3 A	2	

B. 55年度以前の入学生適用

2年次の履修

1年次で履修の2カ国語のうち、いずれかを第1外国語とし2AⅠ・2AⅡの2科目4単位、他方を第2外国語として2Bを1科目2単位、計3科目6単位を必修とする。

第1外国語（指定した外国語2AⅠ・2AⅡの2科目4単位必修）

授業科目	単位	備考	授業科目	単位	備考
英語 2AⅠ	2		中国語 2AⅠ	2	
” 2AⅡ	2		” 2AⅡ	2	
独語 2AⅠ	2		スペイン語 2AⅠ	2	
” 2AⅡ	2		” 2AⅡ	2	
仏語 2AⅠ	2		ロシア語 2AⅠ	2	
” 2AⅡ	2		” 2AⅡ	2	

第2外国語（指定した外国語2Bを1科目2単位必修）

授業科目	単位	備考	授業科目	単位	備考
英語 2B	2		中国語 2B	2	
独語 2B	2		スペイン語 2B	2	
仏語 2B	2		ロシア語 2B	2	

外国語科目履修上の注意

- イ. 外国語科目の組分けは、すべて授業時間表で指定するので、学生は自己の学科・学生番号（下4ケタ）により該当するクラスを履修すること。
- ロ. 1・2年次履修の外国語（英語と他の1カ国語）のうち、3年次に履修する第1外国語を学生自身が指定し、2年次の9月下旬に登録すること。（56年度以降入学生）
- ハ. 1年次生で英語2科目のうち、1科目を英語LLで代替しようとする者は、受講人員に制限があるため、単位履修届提出前にLL事務室まで申し出ること。（7号館4階）
- ニ. なお一層の語学教育を望む学生は、外国語随意科目を開講しているので進んで履修されたい。
- ホ. 不合格科目の再履修については、別に定める。
- ヘ. 3年次までに所定の単位を修得していなければならない。（ただし、55年度以前の入学生は2年次）

3. 保健体育科目の履修方法

講義と実技に分かれ、1年次に2科目4単位を必修とする。

		授 業 科 目	単 位	備 考
講	義	保 健 体 育 理 論	2	前期または後期
実	技	体 育 実 技	2	

- イ. 講義の前期・後期の別は授業時間表で指定する。
 ロ. 講義、実技とも1年次で不合格となった者は「再履修クラス」を履修し単位を修得する。
 ハ. 講義、実技とも2年次までに所定の単位を修得していなければならない。
 ニ. 講義、実技とも火曜日に玉川校舎で授業を行う。

体育実技履修上の注意

イ. 授業について

前期・後期ともそれぞれ履修時間に含まれている数種目の中から希望する種目を選択し受講する。ただし、前期と後期は同一種目を選択することはできない。

(a) 種目選択届

最初の授業時間に、前期・後期とも次の履修時間に含まれている数種目の中から決定するので、必ず出席すること。

(b) 単位履修届

教務部に提出する「単位履修届」の科目名・担任名は授業時間表による科目名・担任名を記入すること。選択した種目名また種目の担任名ではない。

火・1 (商)	火・2 (経1～250)	火・3 (経251～)
ハンド ●村 松	ハンド 村 松	サッカー 秋 田
サッカー 秋 田	サッカー 秋 田	庭 球 牧 野
庭 球 嶋 田	卓 球 長 浜	卓 球 ●長 浜
陸 上 森 本	体 操 三 幣	体 操 三 幣
卓 球 原 山	空 手 ●大 石	空 手 大 石
空 手 大 石	柔 道 光 永	柔 道 光 永
柔 道 光 永		

再履修クラス（2年次生以上の再履修者のクラスで授業は本校で行う）

火・3
球 技 ●宮 沢
剣 道 上 山

水・1	水・2
球 技 ●原 山	球 技 ●原 山
剣 道 上 山	剣 道 上 山

※●印は講座主任

- ロ. 単位の認定について

1年間の授業を通して2単位を認定する。前期と後期は種目選択の上で便宜上分けられるもので、あくまでも1年間の授業を通して単位の認定が行われる。

ハ. 評価について

週一回の授業を真剣に受講することが実技の重要な意味であることから、本学においては出席を評価の上で最も優先させている。この基盤の上に立って前期・後期それぞれの種目において行われる実技試験の点数、および平常の授業における態度が加味されて、実技の評価が行われる。

ニ. 校外学習

夏と冬の二回にわたって実施する。参加は希望制であり人数の制限がある。これは単位認定とは直接関係のない保健体育部主催の行事であるが、実技を受講している学生が参加した場合には評価の上で幾分か加味される。

ホ. 見学について

身体の具合が悪い場合は、担任教員にその旨を報告し、授業を真正面に見学すること。

※長期見学者：前期または後期をほとんどあるいは全部見学せざるを得ない精神および身体上の故障や病気を持っている場合は長期見学者として取り扱い毎時間の真面目な見学をもって出席に代える。また、実技テストは行わずレポートをもってこれに代える。レポートの課題については担任教員より指示を受けること。

ヘ. 服装・更衣について

種目毎に、それぞれの担任教員の指示に従い、指定された場所以外では着替えないこと。

ト. 盗難・事故・負傷について

(a) 盗難：実技の受講日には貴重品は持参しないこと。やむを得ず持参した場合には担任教員に指示を受けること。最近、特に実技の時間を狙った常習者が横行しているので充分注意してほしい。

(b) 事故・負傷：実技の時間に事故や負傷が発生した場合には直ちに担任教員に報告し適切な指示を受けること。

チ. 掲示板の利用について

実技上の連絡は、玉川校舎事務室前の掲示板および玉川校舎入口の黒板に掲示するので、平常よく見ておくこと。

4. 基礎教育科目の履修方法

専門教育科目の基礎となる授業科目で1年次に1科目4単位を必修とする。

履修年次	授業科目	単位	備考
1年次	経済学概説	4	

5. 専門教育科目の履修方法

専門教育科目は必修科目と選択科目とに分かれ、それぞれ定められた単位を修得することになっている。履修する授業科目の選択については専門科目全般にわたって充分検討して履修すること。なお一度単位を修得した授業科目については再度履修することはできない。

イ. 1・2年次開講科目は、ほとんど基礎的科目である。

ロ. 所属学科の開講科目を履修することを原則とするが、特に希望する場合、同学部内の専門教育科目に限り他学科の開講科目（一覧表示）でも履修して試験に合格すれば単位が認められる。（科目コード番号が 335・・・ ではじまる科目）

ただし、必修科目に関しては他学科の科目は履修できない。

経済学科

必修科目

A. 56年度以降の入学生 3科目12単位

2年次必修		
授業科目	単位	備考
経済原論	4	
経済史	4	
経済政策	4	

B. 55年度以前の入学生 4科目16単位

2年次必修			3年次必修		
授業科目	単位	備考	授業科目	単位	備考
経済原論	4		外書講読 I	4	
経済史	4				
経済政策	4				

選 択 科 目

A. 57年度入学生 (72単位以上)

1 年 次 選 択			3・4 年次選択			3・4 年次選択		
授業科目	単位	備 考	授業科目	単位	備 考	授業科目	単位	備 考
会計学総論	4		財 政 学	4		保 険 論	4	
2 年 次 選 択			金 融 論	4		貿 易 論	4	
簿 記 論	4		社 会 政 策	4		証 券 市 場 論	4	
財務会計論	4		商 業 政 策	4		銀 行 論	4	
経営経済学	4		農 業 政 策	4		税 務 会 計 論	4	
統 計 原 論	4		工 業 政 策	4		經 済 法	4	
商学総論	4		民 法 二 部	4	債 権	会 計 監 査 論	4	
憲 法	4		商 法 一 部	4	総 則・ 会社法	国 民 所 得 論	4	
民法一部	4	総 則 物 権	商 法 二 部	4	商 行 為 形 式 ・ 手 切 手 小 法	管 理 会 計 論	4	
演 習 I	4					ア メ リ カ 經 済 論	4	
3 年 次 選 択			景 気 変 動 論	4		中 国 經 済 論	4	
演 習 II	4		交 通 論	4		ア ジ ア 經 済 論	4	
4 年 次 選 択			財 政 政 策 論	4		ヨ ー ロ ッ パ 經 済 論	4	
演 習 III	4		国 際 金 融 論	4		日 本 經 済 論	4	
3・4 年次選択			經 済 地 理	4		ソ ヴ ィ エ ト 經 済 論	4	
近代経済学	4		労 働 經 済 論	4		中 小 企 業 論	4	
経済学史Ⅰ	4	休 講	労 務 管 理	4		価 格 理 論	4	
経済学史Ⅱ	4		原 価 計 算 論	4		外 書 講 読	4	
日本経済史	4		労 働 法	4				
国際経済論	4		人 口 論	4				

B. 56年度以前の入学生 (72単位以上)

1 年 次 選 択			3・4 年次選択			3・4 年次選択		
授業科目	単 位	備 考	授業科目	単 位	備 考	授業科目	単 位	備 考
会計学総論	4	※	金 融 論	4		貿 易 論	4	※
2 年 次 選 択			社 会 政 策	4		財 務 諸 表 論	4	
経営経済学	4		商 業 政 策	4		証 券 市 場 論	4	
会 計 学	4		農 業 政 策	4		銀 行 論	4	
統 計 原 論	4		工 業 政 策	4		税 務 会 計 論	4	
商 学 総 論	4		民 法 二 部	4	債 権	経 済 法	4	
憲 法	4		商 法 一 部	4	総 則・社 会 法 商 行 為 形 手 切 手 小 法	会 計 監 査 論	4	
民 法 一 部	4	総 則 債 権	商 法 二 部	4		国 民 所 得 論	4	
演 習 I	4					管 理 会 計 論	4	
3 年 次 選 択			景 気 変 動 論	4		ア メ リ カ 経 済 論	4	
演 習 II	4		交 通 論	4		中 国 経 済 論	4	
4 年 次 選 択			財 政 政 策 論	4		ア ジ ア 経 済 論	4	
演 習 III	4		国 際 金 融 論	4		ヨ ー ロ ッ パ 経 済 論	4	
3・4 年次選択			経 済 地 理	4		日 本 経 済 論	4	
近 代 経 済 学	4		労 働 経 済 論	4		ソ ヴ ィ エ ト 経 済 論	4	
経 済 学 史 I	4	休 講	労 務 管 理	4		中 小 企 業 論	4	
経 済 学 史 II	4		原 価 計 算 論	4		価 格 理 論	4	
日 本 経 済 史	4		労 働 法	4		外 書 講 読 II	4	
国 際 経 済 論	4		人 口 論	4				
財 政 学	4		保 險 論	4				

※ 簿記学を修得した者は、会計学総論を履修できない。

商 学 科

必 修 科 目

A. 57年度入学生 3科目12単位

1 年 次 必 修			2 年 次 必 修		
授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
会 計 学 総 論	4		商 学 総 論	4	
			経 営 学 総 論	4	

B. 56年度入学生 1科目4単位

1 年 次 必 修		
授 業 科 目	単 位	備 考
簿 記 学	4	

C. 55年度以前の入学生 2科目8単位

1 年 次 必 修			3 年 次 必 修		
授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
簿 記 学	4		外 書 講 読 I	4	

選 択 科 目

A. 57年度入学生 (72単位以上)

2 年 次 選 択			3・4 年次選択			3・4 年次選択		
授業科目	単位	備 考	授業科目	単位	備 考	授業科目	単位	備 考
簿 記 論	4		金 融 論	4		貿 易 論	4	
財務会計論	4		社会政策	4		証券市場論	4	
経済原論	4		商業政策	4		銀 行 論	4	
経済政策	4		農業政策	4		税務会計論	4	
経 済 史	4		工業政策	4		経 済 法	4	
商 業 史	4		民法二部	4	債 権	会計監査論	4	
統計原論	4		商法一部	4	総則・社 会法	国民所得論	4	
憲 法	4		商法二部	4	商行為形 手切手 小法	管理会計論	4	
民法一部	4	総則 債権				アメリカ 経済論	4	
演 習 I	4		景気変動論	4		中国経済論	4	
3 年 次 選 択			交 通 論	4		ア ジ ア 経済論	4	
演 習 II	4		財政政策論	4		ヨーロップ 経済論	4	
4 年 次 選 択			国際金融論	4		日本経済論	4	
演 習 III	4		経済地理	4		ソヴィエト 経 済 論	4	
3・4 年次選択			労働経済論	4		中小企業論	4	
経済学史 I	4	休 講	労務管理	4		価 格 理 論	4	
経済学史 II	4		原価計算論	4		マーケッテ ィング	4	
日本経済史	4		労 働 法	4		商 品 学	4	
国際経済論	4		人 口 論	4		経営管理論	4	
財 政 学	4		保 險 論	4		外書講読	4	

B. 56年度入学生 (80単位以上)

C. 55年度以前の入学生 (80単位以上)

2年次選択			2年次選択			3・4年次選択		
授業科目	単位	備考	授業科目	単位	備考	授業科目	単位	備考
商学総論	4		財政学	4		貿易論	4	
経営学総論	4		金融論	4		財務諸表論	4	
会計学	4		社会政策	4		証券市場論	4	
上級簿記	4		商業政策	4		銀行論	4	
経済原論	4		農業政策	4		税務会計論	4	
経済政策	4		工業政策	4		経済法	4	
経済史	4		民法二部	4	債権	会計監査論	4	
商業史	4		商法一部	4	総則・会社法	国民所得論	4	
統計原論	4		商法二部	4	商行為・手形・小切手法	管理会計論	4	
憲法	4					アメリカ経済論	4	
民法一部	4	総則・物権	景気変動論	4		中国経済論	4	
演習Ⅰ	4		交通論	4		アジア経済論	4	
3年次選択			財政政策論	4		ヨーロッパ経済論	4	
演習Ⅱ	4		国際金融論	4		日本経済論	4	
4年次選択			経済地理	4		ソヴィエト経済論	4	
演習Ⅲ	4		労働経済論	4		中小企業論	4	
3・4年次選択			労務管理	4		価格理論	4	
経済学史Ⅰ	4	休講	原価計算論	4		マーケティング	4	
経済学史Ⅱ	4		労働法	4		商品学	4	
日本経済史	4		人口論	4		経営管理論	4	
国際経済論	4		保険論	4		外書講読Ⅱ	4	

6. 随意科目の履修方法

随意科目は各学科とも2・3・4年次で履修することができるが、卒業に必要な単位に含めることができない。

授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
比 較 思 想 特 講	4		日 本 語 F	2	
独 語 F	2		独 語 FLL	2	
仏 語 F	2		仏 語 FLL	2	
中 国 語 F	2		中 国 語 FLL	2	
ス ペ イ ン 語 F	2		ス ペ イ ン 語 FLL	2	
ロ シ ア 語 F	2		ロ シ ア 語 FLL	2	

※ 日本語Fは留学生対象の科目で1年次生より履修できる。

7. 再履修科目の履修方法

- イ. 再履修とは、前年度履修登録し単位を修得できなかった授業科目（受験しなかった科目を含む）を翌年度に再度履修することをいう。この場合授業科目名が同じであれば担任教員に変更があっても同一科目の再履修となる。（p.22のI参照）
- ロ. 翌年度に再履修しないで翌々年度以降に履修する場合は新履修とみなす。（休学の場合も同様）
- ハ. 再履修の授業科目は、新履修の授業科目と同時に届出なければならない。
- ニ. 外国語・体育実技・保健体育理論および宗教学Iを再履修する場合は、それぞれの「再履修クラス」（本校で授業を行う）で履修すること。ただし、留年者で同級学年の科目を再履修する場合は正規クラスで履修すること。
- ホ. 1年次生は再履修クラスを履修することはできない。

※コード番号について

1 授業科目コードの設定方法

科目コードは6桁の数字とし、その各位の数字に次の意味を持たせている。

イ. 科目コードの区分

--	--	--	--	--	--

•
学部
•
学科
•
系列
•
分野
•
一
番
連
号

(a) 学部, 学科番号は学生番号欄での説明のとおり

(b) 系列, 分野区分について

授業科目の区分	系列番号	分野番号
一般教育科目	0	
人文分野		1(必修)・2(選択)
社会分野		3
自然分野		4
基礎教育科目	1	3
外国語科目	2	
第1外国語		
第2外国語		
保健体育科目	4	
体育実技		1
保健体育理論		2
専門教育科目	5	
必修科目		1.2.3
選択科目		5.6.7.8
随意科目	7	
再履修科目	8	
課程・講座科目	9	
必修科目		1
選択科目		2
教科科目		3.4.5.6.7.8

2 学生番号について

学生番号は8桁の数字とし、その各位の数字に次の意味を持たせている。

イ. 学生番号区分

・ 入 学 年 度 (西暦)	・ 学 籍 異 動	・ 学 部	・ 学 科	・ 一 連 番 号			

(例) 正規学生番号

2	0	3	1	0	0	0	1
・ 82 年 入 学	・ 事 故 な し	・ 経 済 学 部	・ 経 済 学 科	一連番号 (1番)			

ロ. 学籍異動の番号について

- | | |
|---------|-------------|
| 0—正規の学生 | 3—編入 |
| 1—留年 | 4—留年をして転部科 |
| 2—転部科 | 転部科・編入をして留年 |

(例Ⅰ) 留年学生番号

1	1	3	1	0	0	1	1
・ 81 年 入 学	・ 留 年	・ 経 済 学 部	・ 経 済 学 科	一連番号 (11番) (留年のつど変わる)			

(例Ⅱ) 編入学生番号 (57年度3年編入)

0	3	3	1	0	0	2	2
・ 履 修 要 項 度 (80)	・ 適 用 年 入	・ 編 入	・ 経 済 学 部	・ 経 済 学 科	一連番号 (22番)		

3 学部・学科の番号表

学部・学科名	学部番号	学科番号	学部・学科名	学部番号	学科番号
仏教学部	1		法学部	4	
禅学科		1	法律学科		1
仏教学科		2	政治学科		2
文学部	2		経営学部	5	
国文学科		1	経営学科		1
英米文学科		2	短期大学	8	
地理学科		3	国文科		1
歴史学科		4	英文科		2
社会学科		5	放射線科		3
経済学部	3				
経済学科		1			
商学科		2			

IV 履修科目の登録（履修届）とその作成順序

1. 履修科目の登録

毎学年次所属する学科，学年に開講されている授業科目の中から履修を希望する科目を授業時間表より選び，所定の「単位履修届」用紙に必要事項を記入し届出ることにより，通年（または半期）授業を受けることができる。

I) 各年次における最低および最高履修科目数は原則として次のとおりとする。

年次	新履修科目数	再履修を含む科目数
1年次	15科目	-----
2年次	5科目以上12科目以内	53年度以前入学生は制限外，それ以外は制限内
3年次	5科目以上12科目以内	53年度以前入学生は制限外，それ以外は制限内
4年次	5科目以上14科目以内	5科目以上14科目以内

イ. 課程・講座科目，随意科目は上記表の制限外とする。

ロ. 制限範囲内で順次履修すれば，4年次においての新履修科目は専門3科目だけとなり，課程・講座科目の履修や未・再履修科目の補充も制限科目数の範囲内で十分可能となる。

ハ. 半期科目も1科目とする。

II) 登録上の注意

イ. 履修届は指定された日時に必ず本人が記入捺印し，学生証提示の上提出すること。
（提出しない場合は学業の意志のないものとして処理する。なお指定日時に提出できないものは教務部窓口にご相談すること）

ロ. 履修届の日時，場所等についての詳細は原則として新年度成績発表前に教務部掲示板に発表する。

ハ. 所属する学科以外の授業科目は原則として登録できない。ただし，同学部内で他学科の専門教育科目を特に希望する場合，または課程・講座等資格取得のため必要な科目は課程・講座科目として，登録できるが，その場合は教職係窓口で受講承認印を受けてから提出すること。

ニ. 履修登録をしない授業科目はたとえ聴講，受験しても単位は与えない。

ホ. 授業科目の追加登録は一切認めない。

ヘ. 「単位履修届」用紙の注意事項をよく読んで間違いのないように登録すること。

2. 履修届記入の注意

授業時間表(例)

	月 曜 日			
	科目名	科目コード	担任	担任コード
一時限	独 語 1 G	312201	百 済	879
	~~~~~			
二時限	保健体育理論(前)	314201	長 浜	993
	保健体育理論(後)	314201		622
~~~~~				
三時限	宗 教 学 I	310101	平井(俊)	735
~~~~~				
四時限	論 理 学	310203	岩 野	093
	自然科学概論	310401	大 森	156
~~~~~				
五時限	体 育 実 技	314101	大石(武)	141
~~~~~				

正しい記入例

曜日	時限	再履	科目名	科目コード	担任	担任コード
(1)	1		独 語 1 G	3 1 2 2 0 1	百 済	8 7 9
	2		保健体育理論(前)	3 1 4 2 0 1	長 浜	9 9 3
	3		宗 教 学 I	3 1 0 1 0 1	平井(俊)	7 3 5
	4	○	論 理 学	3 1 0 2 0 3	岩 野	0 9 3
	5		体 育 実 技	3 1 4 1 0 1	大石(武)	1 4 1

- 楷書体で正確に記入すること。
- 記入の際は、必ず黒または青インクを使用し、捺印の上提出すること。
- 授業時間表のとおり記入すること。
- 半期終了の科目は欄の中央に点線を入れ、上に前期終了科目・下に後期終了科目を記入すること。
- 再履修科目がある場合は、再履欄に○印をつけること。
- 履修届はコンピューターで処理しているため、下記の場合、登録が無効となるので注意すること。
  - 科目名・科目コード・担任名・担任コードが一致しない場合
  - 時限を誤って記入した場合
  - 間違い易い数字で記入した場合(例、0と6・1と7)
  - その他、不明瞭に記入した場合
- 体育実技の記入方法は、時間表に載っている科目コード・担任コードを正しく記入すること。
- 自己の責任において、必ず指定された日・時・場所に提出すること。
- 履修届の本人控を正確に記入し、紛失ないように保管すること。

### 3. 履修届（時間割）の作成順序

履修要項・授業時間表により、各自がそれぞれの学年次の履修科目を決定する訳であるが、その場合必修科目、選択必修科目、選択科目の順序で決定すること。また一般教育科目・外国語科目・保健体育科目および基礎教育科目は1・2年次で所定の単位を修得し、上級学年に進むに従い専門教育科目、課程・講座科目等を多く履修することが望ましい。

1年次生の場合、次表の順序で履修する科目を決定すると容易である。

(経済学科)

順 序	授 業 区 分	授 業 科 目 (適 用)	科 目 数
1	一般教育科目	宗教学 I (必修)	1
2	外国語科目	第1外国語, 第2外国語 (選択必修)	4
3	保健体育科目	保健体育理論 (半期), 体育実技 (必修)	2
4	基礎教育科目	経済学概説 (必修)	1
5	一般教育科目	人文分野 } 開講科目中6または7科目を選択 社会分野 } 必修(不足の場合は2年次で履修) 自然分野 }	7
	専門教育科目		
1年次履修制限科目数			15

(商学科)

順 序	授 業 区 分	授 業 科 目 (適 用)	科 目 数
1	一般教育科目	宗教学 I (必修)	1
2	外国語科目	第1外国語, 第2外国語 (選択必修)	4
3	保健体育科目	保健体育理論 (半期), 体育実技 (必修)	2
4	基礎教育科目	経済学概説 (必修)	1
5	専門教育科目	会計学総論 (必修)	1
6	一般教育科目	人文分野 } 開講科目中6科目を選択必修 社会分野 } (不足単位は2年次で履修) 自然分野 }	6
1年次履修制限科目数			15

## V 試験および成績評価

### 1. 定期試験

- イ. 前期で終了する授業科目の定期試験は7月に、後期および通年の授業科目の定期試験は1月ないし2月に実施される。
- ロ. 受験にあたっては、正規の手続きを経て登録した授業科目であること。
- ハ. 筆記試験のかわりにレポートの提出を課せられた場合は、主題、枚数、提出日時、提出先等をよく確認の上提出すること。なお、指定された日時に遅れた場合は一切受理しない。
- ニ. 試験時間割は、原則として平常の講義の時限とし、時間および教場等については掲示で発表する。  
(注) 試験場は平常の授業教場と異なる。特に集中試験(同一科目を一括して行う試験)は曜日、時限とも変るので試験時間および教場割等掲示に充分注意すること。

### 2. 中間試験

授業科目によって担任者が独自に行う試験(レポート提出を含む)のことをいう。従って試験は平常の授業に準じて行う。

### 3. 追・再試験

#### I 追試験

- イ. 追試験は、やむを得ない事由があり定期試験(レポート提出を含む)を欠試した場合受験することができる。その場合、欠試者は所定の欠試届にその事由を記し、自分の全ての試験終了後ただちに届け出ること。(×切日は掲示板参照)
- ロ. 追試験料は徴収しない。

#### II 再試験

- 1・2・3年次生については、再試験は、一切実施しない。  
卒業年次生に限り下記により実施する。
- イ. 卒業年次に履修登録した科目の定期試験を受験し、不合格となった科目は願い出により受験することができる。
- ロ. 受験料は1科目500円とする。

### Ⅲ 体育・外国語科目・その他

- イ. 体育実技・演習は追・再試験ともこれを行わない。
- ロ. 外国語科目についても追・再試験を行わない。ただし、定期試験を欠試した者は当該科目試験終了後一週間以内に担任教員に申し出て指導を受ける。

#### 4. 成績評価・単位認定

- イ. 定期試験の成績は、優(100点～80点)・良(79点～70点)・可(69点～60点)および不可(59点～0点)とし、可以上を合格、不可は不合格とする。
- ロ. 所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席し、合格の成績評価を得た授業科目については規定の単位を認定する。
- ハ. 追試験の成績評価は定期試験に準ずる。
- ニ. 再試験(4年次生のみ)の成績評価は70点以下とする。

#### 5. 進級基準

##### ◎正規進級

上級学年に進級する場合は、下記の単位数の取得を要する。

- イ. 1年次から2年次に進級する場合、卒業所要単位のうち30単位以上。
- ロ. 2年次から3年次に進級する場合、卒業所要単位のうち60単位以上。
- ハ. 3年次から4年次に進級する場合、卒業所要単位のうち90単位以上。  
ただし、90単位以上の者でも、一般教育科目・保健体育科目・外国語科目の必要単位数を全て取得していること。

##### ◎注意進級

正規の進級基準には達しないが、教育的配慮から進級を認める。ただし、注意進級が再度つづく場合には、取得単位の不足から4年間で卒業することが困難となるので、今後十分に自戒して所定の単位数を取得するよう努めることが必要である。

- イ. 1年次から2年次に注意進級する場合、卒業所要単位のうち29～20単位までとする。
- ロ. 2年次から3年次に注意進級する場合、卒業所要単位のうち59～50単位までとする。
- ハ. 3年次から4年次に注意進級する場合、卒業所要単位のうち、90単位以上を取得するも、その内一般教育科目、保健体育科目、外国語科目の不合格単位数の合計が、16単位までとする。ただし17単位以上は留年とする。

#### 6. 受験者心得

- イ. 指定された試験場(教場)で受験すること。
- ロ. 学生証を所持しない学生は、いかなる理由があっても受験できない。また、学生証は監督が見やすいように通路側に提示しておくこと。

- ハ. 試験開始より30分以上遅刻した者は受験できない。また開始後30分を経過するまで退場できない。
- ニ. 答案の作成はペン書き（ボールペン可）を原則とする。とくに、学部・学科・学年・番号・氏名は必ずペン書きにし、解答にかかる前に記入すること。
- ホ. 次の場合は退場を命じ、その答案を無効とする。
- (1) 私語や態度の不正なもので注意しても改めないとき
  - (2) 許可なく物品・教科書・ノート類を貸借したとき
  - (3) 監督者の指示に従わないとき
- ヘ. 次の場合には、その答案を無効とする。
- (1) 無記名のもの
  - (2) 配布された答案用紙以外のものを用いたとき
  - (3) 指定された場所に提出しないとき
- ト. 答案用紙は指定の枚数だけ配布し、原則として書き損じても再交付しない。
- チ. 受験中に不正行為があつて、当該教授会が不正行為と認定したときは、学則第57条により懲戒する。なお、懲戒は全学に公示する。
- リ. 以上のほか、試験場内の秩序維持はすべて監督者の指示による。

## VI クラス制およびクラス主任

1年次は学科毎にクラス制をとり、それぞれクラス主任（教員）をおいて学生の学習指導、生活相談等にあたる制度がある。ただし、57年度は実施しない。

## VII 教職課程・資格講座

経済学部で開講されている資格取得の課程・講座は教職課程、学校図書館司書教諭、社会教育主事の1課程2講座である。

教職課程は、教員資格取得のためのもので、本学に於いて教職課程の所定単位を修得したのものには、中学校・高等学校の各免許状が与えられる。

学校図書館司書教諭、社会教育主事の各講座は、学校教育とならんで重要な社会教育の代表的な施設である図書館、青少年教育施設などの専門職員となる有資格者を養成するために設けられているものである。

課程・講座の履修希望者は1年次の秋（11月中旬）にガイダンスを開講するので、2年次から資格取得のため科目履修を予定している者は、このガイダンスに出席し「教職課程・資格講座受講の手びき」をもらうこと。（授業科目の講義内容は履修要項の講義内容を参照すること）

詳細については掲示板で発表する。

### ○開講されている課程・講座

課 程・講 座 名	
教 職 課 程	2 年 次 よ り
学校図書館司書教諭講座	”
社会教育主事講座	”

課程・講座の履修は実習の関係上、3・4年次からの登録による履修は認めない。

## Ⅷ 事務取り扱いについて

### 1. 成績発表・成績証明書について

- イ. 前期終了科目・後期および通年授業科目の定期試験の結果は書類で発表する。
- ロ. 成績の質疑については成績発表後5日以内に教務部③番窓口にて相談すること。ただし評価の質疑については直接担任教員に申し出て相談すること。
- ハ. 成績発表を受けるときは必ず学生証を持参すること。
- ニ. 成績証明書は、卒業年度生以外は原則として発行しない。

### 2. 業授時間について

授業時間は、次表のとおりである。

時 限	第1時限	第2時限	第3時限	第4時限	第5時限
時 間	9:00～ 10:30	10:40～ 12:10	12:50～ 14:20	14:30～ 16:00	16:10～ 17:40

### 3. 事務室の事務受付時間について

- イ. 事務室の事務受付時間は、9時より16時30分（土曜日は12時）までとする。ただし、昼食休憩時間は12時から13時とし、この時間は事務受付を休止する。
- ロ. 履修届提出、成績発表各申込等の受付は9時30分より16時までとする。

### 4. 休講について

- イ. 休講は担任教員より連絡あり次第、第3掲示板（6号館横）に掲示するか、休講掲示板（教務部事務室前ロビー）に掲示する。したがって、教場の黒板に書いて休講の連絡はしない。始業時間より30分以上経過しても連絡のない場合は、教務部①番窓口にて申し出てその指示を受けること。
- ロ. 運輸機関のストライキによる休講措置については、午前7時現在、国電（山手，中央，京浜東北）もしくは東急がストを行っている場合の授業は全面休講とする。

### 5. 掲示について

学生に対する公示・告示および学習上周知を要する事項は、すべて掲示板に発表するので、登校・下校の際は、必ず掲示板を見ること。また、学生個人に対する伝達事項も、掲示または、郵便・電話で連絡するので遅滞なくその指示に従うこと。

## 掲示板の使用区分

- イ. 第1 掲示板 (7号館前)  
公示・告示・その他連絡事項
- ロ. 第2 掲示板 (6号館横)  
学部別連絡事項・その他
- ハ. 第3 掲示板 (6号館横)  
休講・教職・その他
- ニ. 第4 掲示板 (6号館横)  
研究室専用

## 6. 問い合わせ

事務室への電話による質問(行事予定, 休講, 授業, 学籍, 試験, 成績, その他)は, 間違いを生じやすく事務に支障も生ずるので一切応じない。必要あるときは, 必ず登校のうえ, 掲示を見るか, 関係事務窓口で問い合わせること。



# Ⅸ 届書・願書について

(教務部扱いのもの)

種 類	要 領	必 要 書 類	本人印	保証人印	取 窓 口	
届       書	単 位 履 修 届	年度初頭の指定する期日に、各年度に修得しようとする授業科目(単位)を必ず届け出ること。	所定用紙あり	要	不要	掲示
	欠 試 届	やむを得ない事情で欠試した時は届出用紙に理由を書き、本人履修全科目の試験終了後ただちに届け出ること。(×切日は掲示参照)	所定用紙あり	不要	不要	③
	卒業論文論題届 (仏教・文学部のみ)	各学部掲示板にて指示するので、指定期間内に指導教授の承認印を受け、届け出ること。	所定用紙あり	要	不要	⑤
	改 氏 名 届	変更後1週間以内に届け出ること。	所定用紙あり 戸籍抄本1通添付	要	不要	⑥
	本 籍 地 変 更 届	変更後1週間以内に届け出ること。	所定用紙あり 戸籍抄本1通添付	要	不要	⑥
	保 証 人 変 更 届	変更後1週間以内に届け出ること。	所定用紙あり 在学誓書(保証書)添付	要	要	⑥
	保 証 人 住 所 変 更 届	変更後1週間以内に届け出ること。	所定用紙あり	要	不要	⑥
	死 亡 届	/	所定用紙あり 死亡診断書添付	/	要	⑥
願    書	休 学 願	病気その他の理由で引き続き2か月以上修学することができないときは、保証人連署の上願い出て休学の許可を得なければならない。	所定用紙あり 傷害・疾病による場合は医師の診断書添付	要	要	⑥
	復 学 願	願い出により休学した者が復学する場合は、毎学年の始めとし、保証人連署の上願い出て復学の許可を得なければならない。 「復学願」の提出は4月初旬までとする。	所定用紙あり 傷害・疾病による休学をした場合は医師の通学可能である証明書添付	要	要	⑥
	退 学 願	傷病その他やむを得ない理由で退学する場合はその理由を付し、保証人連署をもって願い出て許可を得なければならない。	所定用紙あり 学生証添付	要	要	⑥
	転部(科)・転学願	事前に教務部に相談すること。	所定用紙あり (転学はなし)	要	要	①

## X 各種証明書取扱い窓口

証 明 書 名	取 扱 窓 口	料 金
成 績 証 明 書	教務部④番	一通 100円 (英文証明書) 一通 300円
卒 業 (見 込) 証 明 書		
学 士 証 明 書		
教員免許状取得見込証明書		
単 位 修 得 証 明 書 (教職、司書教諭、学芸員、社会教育、社会福祉)		
一般教養科目修了(見込)証明書		
満期退学(見込)証明書 (博士後期)	教務部⑤番	
修了(見込)証明書(修士)		
修 士 証 明 書		
在 籍 証 明 書 (中途退学者に限る)	教務部⑥番	
人 物 考 査 書	就 職 部	
健 康 診 断 証 明 書	医 務 室	
在 学 証 明 書	学 生 部	無 料
学 割		
通 学 証 明 書		

※ 経理部前備付けの申込用紙に必要事項を記入し、手数料分の証紙を貼付(郵送料は現金で経理部窓口へ納入)の上、取扱い窓口へ申し込むこと。

発行は原則として3日後。ただし教務部取扱い証明書は、6月下旬より10月中旬と3月は大変混雑が予想されるので、掲示に注意し、充分余裕をもって申し込むこと。

# 講 義 内 容

# 會 內 誌 錄

# 講義内容目次

## 一般教育科目

### 人文分野

宗 教 学 I (平井 俊栄)	38
宗 教 学 I (田上 太秀)	38
宗 教 学 I (池田 魯参)	38
宗 教 学 I (吉津 宜英)	38
宗 教 学 I (田中 良昭)	39
宗 教 学 I (片山 一良)	39
宗 教 学 I (再クラス) (松本 皓一)	39
宗 教 学 I (再クラス) (吉津 宜英)	39
宗 教 学 II (櫻井 秀雄)	40
宗 教 学 II (伊藤 俊彦)	40
宗 教 学 II (皆川 広義)	40
宗 教 学 II (河村 孝道)	40
宗 教 学 II (伊藤 秀憲)	40

哲 学 (久保 陽一)	40
(桑原 直己)	

論 理 学 (桑原 直己)	41
(中村友太郎)	
(門脇 俊介)	

倫 理 学 (並木 康三)	41
文 学 (新井 章)	41
文 学 (三宅 武治)	41
歴 史 学 (木槻 哲夫)	42
歴 史 学 (立川 章次)	42
歴 史 学 (野呂 尚生)	42

### 社会分野

法 学 憲 法 (大久保治男)	42
法 学 憲 法 (佐々木 信)	43
法 学 憲 法 (竹花 光範)	43
政 治 学 (飯山 勇)	43
政 治 学 (寺崎 修)	43
社 会 学 (橋爪 敏)	43
社 会 学 (田草川僚一)	44
統 計 学 (飯塚仁之助)	44

地 理 学 (宮口 侗迪)	44
地 理 学 (玉井 建三)	44
文化人類学 (加藤 正春)	45

### 自然分野

自然科学概論 (大森 五郎)	45
自然科学概論 (丹羽小弥太)	45
自然科学概論 (三野 英彦)	45
数 学 (宮寺 功)	46
数 学 (木沢 綏)	46
心 理 学 (茅原 正)	46
心 理 学 (園田 健司)	46

### 外国語科目

英 会 話 (Pratt, T. C. Dean)	47
---------------------------	----

### 保健体育科目

体育実技	48
------	----

### 随意科目

比較思想特講 (窪 徳忠)	51
独 語 F (吾妻雄次郎)	51
独 語 F L L (小林佳世子)	51
仏 語 F (加藤 節子)	51
仏 語 F L L (松岡 宏一)	52
仏 語 F L L (マドレヌ・マルタン)	52
中 国 語 F (堀田 洋子)	52
中 国 語 F L L (果 荃英)	52
スペイン語 F (佐藤玖美子)	52
スペイン語 F L L (フワン・ナバロ)	53
ロシア語 F (タチャーナ・バリ)	53
(一ソヴナ・野村)	
ロシア語 F L L (タチャーナ・バリ)	53
(一ソヴナ・野村)	
日本語 F (留学生対象) (杉山 秀子)	53

## 基礎教育科目

経済学概説(大石 雄爾).....	54
経済学概説(斎藤 正).....	54

## 専門教育科目

### 1 年次必修科目(商学科)

会計学総論(飯岡 透).....	55
会計学総論(加藤 利安).....	55

### 1 年次選択科目(経済学科)

会計学総論(竹林 代嘉).....	55
-------------------	----

### 2 年次必修(経)・選択(商)科目

経済原論(戸田 武雄).....	56
経済原論(横山 正彦).....	56
経済原論(阿部(小谷野)弘).....	56
経済政策(石井 啓雄).....	57
経済史(永田正臣).....	57

### 2 年次選択科目

民法一部(雨宮 眞也).....	57
会計学(経)(遠藤 孝).....	58
商学総論(大吹 勝男).....	58
上級簿記(加藤 利安).....	58
憲法(斎藤 寿).....	58
経営経済学(経)(寺中 良二).....	58
経営学総論(商).....	58
会計学(商)(長谷川忠一).....	59
商業史(藤井 光男).....	59
統計原論(吉野 紀).....	59

### 3・4 年次選択科目

農業政策(浅田 喬二).....	60
近代経済学(浅野 克己).....	60
価格理論(荒木 勝啓).....	61
商法一部(荒木 正孝).....	61
経済学史Ⅱ(有井 行夫).....	61
民法二部(雨宮 眞也).....	61

会計監査論(飯岡 透).....	62
労務管理(石井 修二).....	62
交通論(石井彰次郎).....	62
保険論(石名坂邦昭).....	62
国際金融論(池田 健).....	63
商品学(塚原 博).....	63
中国経済論(小杉 修二).....	63
経済法(江上 勲).....	63
財務諸表論(遠藤 孝).....	64
労働法(掛谷力太郎).....	64
証券市場論(柿崎 暎次).....	64
原価計算論(加藤 利安).....	64
工業政策(剣持 通夫).....	65
経済地理(上坂 修夫).....	65
日本経済史(古庄 正).....	65
アジア経済論(小林 英夫).....	65
金融論(渋谷 隆一).....	66
ヨーロッパ経済論(清水 卓).....	66
アメリカ経済論(瀬戸岡 紘).....	66
マーケティング(曾我 信孝).....	67
商業政策(岩下 弘).....	67
国際経済論(徳永 俊明).....	67
管理会計論(長松 秀志).....	67
財政学(西村紀三郎).....	67
財政政策論(里中 恒志).....	68
景気変動論(西村 允克).....	68
税務会計論(長谷川忠一).....	68
経営管理論(百田 義治).....	69
商法二部(井上 治行).....	69
貿易論(古沢 紘造).....	69
銀行論(本間 靖夫).....	69
中小企業論(三井 逸友).....	70
社会政策(光岡 博美).....	70
人口論(森岡 仁).....	70
日本経済論(森 武麿).....	71
ソヴィエト経済論(山縣 弘志).....	71
労働経済論(山下不二男).....	71
国民所得論(吉野 紀).....	71

外書講読Ⅱ(石井 修二).....	72	外書講読Ⅱ(瀬戸岡 紘).....	73
外書講読Ⅱ(荒木 勝啓).....	72	外書講読Ⅱ(曾我 信孝).....	73
外書講読Ⅱ(有井 行夫).....	72	外書講読Ⅱ(徳永 俊明).....	74
外書講読Ⅱ(浅野 克己).....	72	外書講読Ⅱ(百田 義治).....	74
外書講読Ⅱ(大吹 勝男).....	72	外書講読Ⅱ(古沢 紘造).....	74
外書講読Ⅱ(小林 英夫).....	72	外書講読Ⅱ(三井 逸友).....	74
外書講読Ⅱ(阿部(小谷野)弘).....	73	外書講読Ⅱ(光岡 博美).....	74
外書講読Ⅱ(斎藤 正).....	73	外書講読Ⅱ(山縣 弘志).....	74
外書講読Ⅱ(清水 卓).....	73		

# 一般教育科目

## 人文分野

### 宗 教 学 I

平 井 俊 栄

宗教とは何かを概説し、未開宗教、古代宗教の特質を概観した上で、世界宗教の代表として仏教について講ずる。

〔教科書〕 『宗教学Ⅰ』（更生社）

〔参考書〕 『宗教学ハンドブック』（世界書院）

### 宗 教 学 I

田 上 太 秀

宗教が人間・社会・文化の場とどのように関わり、いかなる意味と役割をもつかを明らかにし、あわせて仏教とわれわれとの関連を現代の問題に触れつつ考えてみる。

〔使用教科書〕 『宗教学ハンドブック』（世界書院）

### 宗 教 学 I

池 田 魯 参

普段はあまり意識しないが、現代社会では宗教的行事が案外と様々な形で私たちに関与している。現代は父性原理を喪失し、母性原理を探しあぐね、つる社会不安は、伝統文化に対するみなおしの気運を強めている。文化現象として現われる「宗教」の意味を絵解きしながら、世界の諸宗教との関連で、日本社会が今どのような状況にあるのか解明したい。そのなかで仏教思想は、どのような問題解決の方法を示すのか、私に顕われる仏教の有効性と展望を指示し、受講生諸君の、自己究明と自己実現のために、一つの葉として頂ければ幸いである。

〔教科書〕 『宗教学Ⅰ』（更生社） ￥1,950

〔参考書〕 『宗教学ハンドブック』（世界書院） ￥1,400

### 宗 教 学 I

吉 津 宜 英

宗教とは一体何だろうか。宗教学者の教ほど宗教の定義はあるとも言われる。それも道理で、この地球上に一方では唯一の創造神を崇拝する人々がいるかと思えば、他方にはブッダに成ろうとして努力している人々もいるというわけで、その差異は大きい。現代に生きる我々は先ず多様な宗教の存在する現実を確かめ、宗教は他の文化領域とどのように関



連しているかを考えてみる必要があるだろう。とくに現代は経済時代といわれる。そのような時代において宗教の価値を再評価する余裕も必要であろう。特に日本の文化に深く根を下している仏教の真理性を再検討し、共同体の原理として生かし得るかどうか考えてみよう。

〔教科書〕 『宗教学Ⅰ』（更生社）

〔参考書〕 『宗教学ハンドブック』（世界書院）

## 宗 教 学 Ⅰ

田 中 良 昭

宗教が人間生活にとっていかなる意味や役割を持つものであるかを導入とし、種々の宗教を比較しつつそれぞれの特色を明らかにし、特に仏教の基本的立場について考察を加える。

〔教科書〕 『宗教学ハンドブック』（世界書院）

## 宗 教 学 Ⅰ

片 山 一 良

宗教が、人間、社会、文化の場とどのように関わり、いかなる意味と役割をもつかを明らかにし、合わせて仏教と我々との関連を、現代の、あるいは歴史的な問題に触れつつ、具体的に考察する。

〔参考書〕 『宗教学ハンドブック』（世界書院）

## 宗 教 学 Ⅰ（再クラス）

松 本 皓 一

人間にとって宗教とは何であるか、その意味や働きを考えながら、宗教全体を展望し、後半では仏教について述べる。

〔教科書〕 『宗教学Ⅰ』（更生社）

## 宗 教 学 Ⅰ（再クラス）

吉 津 宜 英

宗教という何か高い所から下に向かって示されるようなものとする諸君があるかもしれない。確かに教団を持っている場合には組織というものがあり、教祖と呼ばれる人から平の信者に至るまでの上下の関係があって、上意下達の形になっていることも事実である。しかし、我々はもっと自由人の発想で宗教を考えてよいのではあるまいか。私はこの人生を責任をもって生きることが宗教だと思っている。宗の所に責任という意味を読み、教とはどのように生きるかを学ぶことだと思う。この授業は教科書にそって行いが、基本的態度は以上のことを眼目とする。最後のテストだけではなく、年間何回かのレポート提出を御願いたい。

〔教科書〕 『宗教学Ⅰ』（更生社）

〔参考書〕 『宗教学ハンドブック』（世界書院）

## 宗 教 学 II

櫻 井 秀 雄

宗教学 I との関連を考慮しながら、特に仏教および禅仏法を中心として、その根幹となる思想を解明しつつ、それらが、わが国の文化形成の上で、いかなる役割りを果しているかを探る。

〔参考書〕 駒沢大学仏教学研究室編『宗教学 II』（更生社）

『宗教学ハンドブック』（世界書院）

## 宗 教 学 II

伊 藤 俊 彦

禅の全体的な把握を主眼に、広く人間・社会・文化との関連に留意しつつ、講義を進める。

## 宗 教 学 II

皆 川 広 義

はじめに、日本人の心に大きな影響をあたえてきた仏教について、教主釈尊の教えを中心に概説する。

次に、仏教のなかで、生活化された仏教、いわゆる禅について、その歴史を中国・日本へとたどりながら、思想や創意した禅文化について考究したい。

〔教科書〕 『宗教学 II』（更生社）

〔参考書〕 『宗教学ハンドブック』（世界書院）

## 宗 教 学 II

河 村 孝 道

日常的立場と宗教的立場における視点の相違についての理解、禅仏教の立場の思想的理解、および宗教（禅）と人生との関わり合いとそこからの種々の問題について考察する。

〔参考書〕 『宗教学ハンドブック』（世界書院）

## 宗 教 学 II

伊 藤 秀 憲

インドにおける禅定、中国での禅宗の成立と発展、そして日本への流伝（特に道元禅師とその門流を中心に）と言った、禅の歴史を通観し、そこに現われた禅匠たちの生き方から、禅の人生観・人間観等を考察したい。

〔教科書〕 『宗教学 II』（更生社） ￥1,950

## 哲 学

久保陽一・桑原直己

人間は生れつき、知識の営みをするように定められている。人間のもつどんな知識でも

思想を表わし、人間はその思想によって生きている。しかしわれわれの日常生活では、自分がどのような思想によって生きているかの自覚がない。それは、伝統的思想に支配されているからである。われわれが「よりよく生きる」ことを願うならば、一定の目標を定めなければならない。そのためには自覚した思想をもたなければならない。哲学は、古代から現代に至るまでの自覚された思想を研究し、さらにそれを自らの生きるための思想とするものである。また大学における学問研究の基礎知識の習得にも努める。

## 論 理 学

桑原直己・中村友太郎・門脇俊介

論理学は、正しく思考するためには「いかに思考すべきか」を教える科学である。ここでいう思考は、推理という型の思考である。われわれは、学問する場合はむしろのこと、日常生活においても、たえず思考しているが、必ずしも正しく思考しているとはかぎらない。したがって、論理学によって正しく思考するための法則を学ばなければならない。さらに、現代の科学技術や電算機の基礎になっている論理法則の理解や習得をする。

## 倫 理 学

並 木 康 三

倫理学とは、人間にとって何が善であり、幸福であるかを教え、この幸福を実現するための方法として人間が為さねばならぬ徳の実践を要求する学問である。

かかる認識の下に、本講では、古代ギリシャおよびローマの哲学、キリスト教と中世神学および宗教改革、近世哲学特に英国経験論とカントの哲学、現代の実存哲学などに於ける倫理学を、思想史的に講述する。

- 〔教科書〕 シュヴェグラー、谷川徹三訳『西洋哲学史』〔上下巻〕(岩波文庫) 各 ¥ 300  
並木康三『ヤスパースの哲学』(高文堂出版社) ¥ 1,000  
カールヤスパース、並木康三訳『哲学概説』(八千代出版) ¥ 1,500

## 文 学

新 井 章

日本の詩歌の歴史を概括的に把握する。上代・中世、近世、近代の四つの時代に分けて考察しつつ新しい詩歌の方向をさぐる。

- 〔教科書〕 『日本韻文史』(桜楓社)

## 文 学

三 宅 武 治

文学とは何かということに関して、文学全般にわたって、広い視野に立った講義をしたと思います。万葉集、古今集、土佐日記、源氏物語、徒然草、方丈記、平家物語、奥の細道、百人一首等を扱いながら近代文学へ来たいと考えております。近代文学・現代文学では主な小説と主な詩集について講義をしますが、西洋の18世紀以降の詩についても講義して、学生たちに文学のよさと楽しさを理解させたいと思っております。

## 歴 史 学

木 槻 哲 夫

日本史上の問題点若干について紹介しつつ、日本社会の発展を考察したい。教科書は特定しない。

## 歴 史 学

立 川 章 次

十九世紀後半の我国は幕府の権威が次第に失墜し、封建制崩壊の兆しが顕著となっていく。他方、尊王論の発達、朝廷権力の伸張を示す気運が高揚しながら、それが実現するにはなお一層の時間を必要としていたのである。しかし、徳川封建制の動揺と尊王思想の発達という二つの内的要因は、時を追ってその比重を増出し、新時代の到来を次第に強固に予感させるようになっていくのである。そこへ突如として加わるのが欧米諸勢力による外的要因である。米国は開国を要求する一方、琉球、小笠原島の占領を謀り、南下のロシアは軍事基地を求めて対馬を狙い、英国、仏国は対日勢力の扶植に躍起となる。我国はまさに国家存亡の危機に直面するのである。この時、尊王論は攘夷論と結合し、まず封建国家の余命を断絶し、そして欧米諸勢力に対抗できる近代国家形成への方策を巡らし、これに成功していくのである。この過程を「明治維新史」として研究、講義していきたい。

## 歴 史 学

野 呂 肖 生

現代的な関心の上に立って、歴史学とは何かを自ら考え、探求してゆくようなものになりたいと思っている。教科書は使用しない。

## 社 会 分 野

### 法 学 憲 法

大 久 保 治 男

技術革新、大衆社会、情報化社会、高度経済社会など現代社会は複雑になり利害も対立しがちです。各個人と全体との調和のための最大公約数としての法秩序の維持は社会正義の実現よりも必要です。法の常識は善良な市民として必須条件です。日常生活にまつわる法律関係を民事、刑事等具体的事例を多くとり入れつつ説明し、更に憲法の大きな問題にもふれつつ受講生に法学に対する興味と意欲を起させるように楽しく教授指導していきます。

〔教科書〕 杉山編大久保他共著『法学入門』（高文堂出版）

〔参考書〕 講義において指示します。

## 法 学 憲 法

佐々木 信

本講は今日の法学に関する基礎知識、基礎理論の概要を示すことを主目的とする。当学部においても第二年次およびそれ以後の学年次において、法学の若干の部門の学習をなし得るわけであるが、通常、この種の法学学習には、予備的段階として、今日の法学の考察してきているところを、その概要なりとも、知っておくことが望ましいと考えられよう。しかし、本講は大学における教養科目の講義としてなされるわけであるから、法学にともすればともないがちである職業的色彩は、これを排するものである。

## 法 学 憲 法

竹 花 光 範

一年をほぼ二分し、前半は「法学」の講義、後半は「日本国憲法」の講義を行う。

〔教科書〕 } 講義の中で述べる。  
〔参考書〕 }

## 政 治 学

飯 山 勇

本講では、政治に関する一般的・基礎的知識の習得を主眼としながら、高度に抽象化された政治学原論や深淵な政治学説の研究への入門的役割を果たすように配慮したい。したがって、本講では現代国家が直面しているもろもろの政治現象の理解に、必要最少限の政治学の問題点を提起し、それらについて論及する。

〔教科書〕 講義の際に知らせる。

## 政 治 学

寺 崎 修

現代政治の理解を深めるために、政治学の基礎理論ならびに政治学上の諸問題について講義を行う。適宜、具体的事例をとりあげて、わかりやすい講義となるように心がけたい。

〔教科書〕 寺崎他共著『基礎政治学』（北樹出版）

## 社 会 学

橋 爪 敏

社会学という学問のもつ研究対象や性格は、ほかの社会諸科学と比べた場合、あまり理解しやすいものとは言えない。それは、社会学のもつ一種独特の学問的性格や対象の設定に基づくものであろう。社会学は、名称の示すごとく、社会を研究対象とするものであるが、それを常に具体的、現実的な人と人との関係の現象、集団の現象に還元して考察、理

解し、さらには理論的に体系化する志向をもつ。そこで、この講義では、このような社会学独自の社会現象の見方、考え方、また基礎的な知識をテキストをもとに理解し、考えていくこととした。

〔教科書〕 安藤喜久雄ほか編『(新版)社会学概論』(学文社)

〔参考書〕 『わかりやすい社会学』(学文社)

## 社 会 学

田草川 僚 一

本年度は、社会学における主要な学説をはじめとして、個人=集団=社会の相互のかかりを考えるに当たっての基礎的な概念枠組と、それに基づく主要な一般理論、および特殊理論に触れながら、併せて現代社会が当面している主要な社会学的諸問題について、できる限り具体的なデータに即した講義を進める予定である。講義に使用するテキスト以外の必読文献に関しては、講義の進行に則して別途指示する。

〔教科書〕 安藤・児玉『新版社会学概論』(学文社) 安藤・児玉『統計からみる社会学—資料編—』〔サブ・テキスト〕、安藤・児玉『わかりやすい社会学—一問一答』(学文社)

## 統 計 学

飯 塚 仁之助

### 第Ⅰ編 記述統計

1章 度数分布, 2章 平均, 3章 散布度, 4章 歪度, 5章 尖度 6章 指数,  
7章 時系列, 8章 相関関係

### 第Ⅱ編 推測統計

1章 母集団と標本, 2章 標本抽出法, 3章 統計的仮説の検定, 4章 統計的推定

### 第Ⅲ編 統計図表

〔教科書〕 使用せず(ノート使用)

〔参考書〕 森田優三『統計概論』(日本評論社)

## 地 理 学

宮 口 侗 廸

現在諸君が暮しているのは世界最大の都市地域の1つである東京とその隣接地域である。本講においては、近年発達がめざましい都市地理学の成果を利用して、諸君が、東京という都市を地理学的に理解できるようになるよう努めたい。まず都市の成立と発展についての基本的知識を習得せしめた後、具体的なデータ・図を用いて東京の特性を地域的に解明してゆきたい。特製の講義用プリントを作成して購入してもらう予定。

## 地 理 学

玉 井 建 三

地理学を平易に理解できるよう心掛けてみる。特に①生活文化と土地柄, ②自然と民衆

の知恵，③地域設定とその手法，④人口移動，⑤乾燥地域の自然環境などについて，史的観点から講述する予定である。

## 文化人類学

加藤正春

文化人類学は地球上の諸民族，諸文化の実証的，経験的理解をとおして，「人間の研究」をおこなう学問である。この学問は，おもに非西欧的，前産業的な社会を比較研究の対象として，人間と文化の多様性と相対性の認識をふかめてきた。講義では，現在実態調査をこころみている沖縄や本土の伝統的民俗社会の事例なども紹介し，環境と経済，親族と婚姻，政治と法，宗教と世界観，文化変化その他の，人類文化の諸側面を検討する。

〔参考書〕 講義中に指示する。

## 自然分野

### 自然科学概論

大森五郎

20世紀後半の現代は宇宙時代の開幕期であり，又原子力文明の入口に達した時期であると云われている。確かに今世紀に入ってから自然界における各分野の研究成果——自然科学の発達が目覚ましい。しかも一方においてこの自然科学を基盤とする近代文明の発達は，地球上の資源の枯渇と各種の産業公害並びに環境破壊による生態系の変貌とをもたらし，今や人類の生存すら脅かすに至っている。本講義においては現代自然科学と各種産業技術との関連，資源枯渇と代替資源の開発，新資源の発見並びに海洋開発等について述べ，併せて公害問題にも論及する。

### 自然科学概論

丹羽小弥太

古代ギリシャに自然科学の源流をたずね，その後の自然科学の発展史をたどりながらその特質を明らかにする。さらに科学と技術との関連について考究し，それらが社会，政治，経済にどうからみ合うか，そのことによって人類の在りようがどう変化してきたか，変化しつつあるかについても一考する。

〔教科書〕 本年度は不要

〔参考書〕 木村陽二郎『自然科学概論』（裳華房）

### 自然科学概論

三野英彦

資源問題，エネルギー問題，環境汚染問題，ないしは，わが国科学技術発展の展望など，今日のわれわれの身近な科学的諸問題をとりあげて，講義する。

## 数 学

宮 寺 功

主として、微分積分学の考え方の大要およびその応用について、今迄に基礎知識のない人にも十分理解できるように丁寧に解説する。

〔教科書〕 『改版 大学の数学』（東京教学社）

## 数 学

木 沢 綏

線形代数を基本に、今日的応用数学に備えて、ラプラスアン、シミュレーション、リーストスクウェア、フーリエ、ヤコービアン、マクローリン、ガンマ関数、近似値、誤差、行列等を、わかり易く説きほぐしたい。

## 心 理 学

茅 原 正

「人とは何か」は永遠の問題である。心理学は、人は何をいかに感じ、考え、かつ行なうかということ、すなわち、人間の心とあらゆる行動の原理法則を明らかにすることによって、この問いに答えようとする科学である。人間は本来、自然的存在であると同時に、社会的・文化的な存在であり、心理学は、まさに人間活動の全領域を研究の対象とするものである。

本講では、現代心理学の主要な理論を平易に説明し、学生諸君が、複雑な人間関係にある自己や他人を理解するための指針を得るよう、ともに学んでゆきたい。

〔教科書〕 中村昭之監修『心理学概論』（八千代出版）

## 心 理 学

園 田 健 司

人間の生命維持には生理的動的平衡が不可欠であるが、この平衡が意識下で処理しきれなくなると外界に働きかけることによって平衡を保とうとするための動因としての欲求が意識にのぼってくる。然し、現代のようにイノベーション化し、複雑多岐に亘っている社会では、すべてその欲求を充足してくれるとは限らない。従って、人間は時には self control をすることによって社会に適應することになる。そのために、心理学は人間の有機的社会的側面をベースに心理的側面を考えていかねばならない。そこで、本講義はこのような生理的・心理的メカニズムをもった人間について、現代心理学が扱っている領域の面から各論的に講じてみたい。

〔教科書〕 『心理学概説』（八千代出版）



# 外国語科目

英 会 話

Pratt, T.C. Dean

English conversation necessary for everyday life. Native speaker word-group sound. Also discussion on current life, Japan and the world.

# 保健体育科目

## 各実技種目の概要及び指導教員名

球 技（体育館） 原山良勁・宮沢栄作

基礎技術の習得とに併わせて、ゲームにより、その競技を理解する。（バレーボール、バスケットボール、その他）

服装：一般的運動服装，上履用運動靴

体 操（玉川校舎） 三 幣 晴 三

マット・鉄棒を中心に行い，初心者を中心とした遊戯的内容から出発し，段階的に技を指導する。

服装：一般的運動服装，靴は体操シューズが望ましい。

相 撲（玉川校舎） 館 岡 儀 秋

基本技（攻の型・守りの型）の練習を主に，併せて応用技の習得を行い，心・技・体三則の本義を理解させる様指導する。

土俵マットを使用し，服装は海水パンツ等の上に，相撲パンツを使用する。

ウエート・トレーニング（玉川校舎） 宮沢栄作・秋田浩一

個人の体力差に応じてトレーニングプランを作成し，主にバーベルを使用したウエートトレーニングを行う。このトレーニングの目的は体力，体軀の増強，内臓器官の強化である。

柔 道（玉川校舎） 光 永 吉 輝

初心者を対象として基本技能（受け身），応用技能（投げの形）（固の形）等の練習を行う。服装は原則として柔道衣。

## 剣 道 (第二体育館)

上 山 智 身

剣禅一致の精神に基き初心者を対象として下記の順序で実施する。

1. 基本動作
2. わざ
3. 懸り稽古, 互格稽古
4. 試合稽古

服装・試験については最初の授業において説明する。

## 空 手 道 (玉川校舎)

大石武士・高橋俊介

拳禅一致の精神に基き初心者を対象として下記の順序で実施する。

1. 基本技 (空気を相手に, 受, 突, 打, 蹴技の反復練習)
2. 形 (基本技の受, 突, 打, 蹴を合理的に構成したもので空気を相手に行う)
3. 護身術
4. 約束基本組手 (基本技で取得した, 受, 突, 打, 蹴技を実際に相手をおいて行う簡単な約束した組手)

服装は原則として空手道衣着用のこと。

## 陸 上 競 技 (玉川校舎)

森本 葵・館岡儀秋

駒大式四種競技 (100米, 長距離, 砲丸投, 走高跳) とし得点制とする。

服装はランニングパンツが望ましいが, 普通のトレパンでも可。なお, スパイクの着用は原則として認めない。

## ソ フ ト ・ ボ ー ル (玉川校舎)

太 田 誠

基本技能を中心として毎時間ゲームを行う。服装はトレシャツ, トレパン。グラブ, ミットは貸与する。

## ハ ン ド ・ ボ ー ル (玉川校舎)

村松 誠・浅野鉦世

パス, シュート等基本技術を中心にゲームを行う。服装は, トレシャツ, トレパン, 運動靴を用意すること。

## サ ッ カ ー (玉川校舎)

秋 田 浩 一

基本技術を中心として練習し, 毎時間ゲームを行う。

服装はショートパンツと厚い靴下を着用すること。

## 卓 球 (玉川校舎)

長浜友雄・原山良勁  
牧野 茂・嶋田美津子

ゲーム (シングル, ダブルス) 中心の授業を行う。服装は体育時のもので良い。体育館シューズを用意すること。(ラケットは貸与する)

## テ ニ ス (玉川校舎)

長浜友雄・牧野 茂  
浅野鉦世・嶋田美津子

ゲーム (ダブルス) 中心の授業を行う。服装は、一般運動服装 (白のトレーニングパンツまたは短パンツが望ましい) とするが、靴はテニスシューズを用意すること。

## 実 技 教 場 案 内

- (1) 体 育 館：本学内、男子更衣は三階東側スタンド。(ステージに向い左側)  
女子は三階西側の更衣室。(ステージに向い右側)  
TEL (418) 9517
- (2) 第二体育館(武道館)：本学内3号館の裏側相撲道場の隣、一階は柔道場、二階は剣道・空手道場。更衣室は各階に有る。  
TEL (418) 9201
- (3) 玉川校舎：世田谷区宇奈根 1-1-1 (学生手帳を参照)  
TEL (709) 0717

# 随 意 科 目

## 比較思想特講

窪 徳 忠

中国の思想・宗教・文化は、古くから日本に伝来しているけれども、私のみるところによれば、それらの中国思想などは、いわば日本人の思考の枠内にあてはまったものが容れられるか、最初は中国とほとんど同様であっても、伝来後時代をへるにつれて日本的に変容して、日本に定着するようになる。現在の日本で、もっとも多く中国的なものを残しているのは沖縄県である。そこで、主として沖縄県を中心として、日中の思想宗教などを比較して論じてみたい。

〔参考書〕 窪節 『中国文化と南島』（第一書房） ¥ 2,500円  
" 『道教史』（山川出版社） ¥ 1,900円

## 独 語 F

吾 妻 雄次郎

主として読解力を養うため、Seghers, Bredel, Hermlin 等の短篇小説を読み、戦前から戦後にまたがるドイツの現代作家たちの眼が現実をどのように捉えていたか的一端を識る緒にしたい。

〔教科書〕 使用テキストについては開講時に教場において指示する。

## 独 語 FLL

小 林 佳世子

音としてのドイツ語にふれ、聴きとり能力を養成することに重点をおく。聴きとることができてこそ意志の疎通も可能となるからである。テープを繰り返し聞くことにより、発音および基本的な文型や語彙を身につけ、平易な日常会話ができるようにしたい。口頭練習の他できるだけ多様なテープを聞き、時にはスライドを見て、生きたドイツ語、ドイツの姿に接して頂きたい。受講者は一年次のドイツ語を既習していることが望ましい。

## 仏 語 F

加 藤 節 子

フランス十九世紀の文学史のやさしいテキストを読むことによって、フランス語の読解力を修得すると共に、この時期に輩出した大作家・詩人たち、例えばユゴー、スタンダール、バルザック、フロベール、ボードレール、モーパッサン、ゾラなどの文学的位置づけをしていく。また折にふれてこれら作家の作品の抜粋を読んで作品の鑑賞をも併せてやってゆきたい。

〔教科書〕 プリント

## 仏 語 F L L

松 岡 宏 一

L L部に備えてある HACHETTE 社の「LE FRANÇAIS ET LA VIE」を使用して講義をすすめます。耳の訓練に重きをおき、こちらの設問に適宜な反応を示せるよう指導いたします。この教科書にはスライドと音声がついておりますのでこれを十二分に活用、効果をあげたいと念じております。

生徒諸士に望みたいことは、L Lだけではなく、同時に他のフランス語正課にも出席していただきたいことです。

〔教科書〕 『LE FRANÇAIS ET LA VIE』 (HACHETTE)

## 仏 語 F L L

マドレーヌ・マルタン

テキストを使ってやさしい会話、初めの時間にテキストの説明をし、次の時間にテキストに従って会話をする。

—テキストの復習をよくすること。

—間違いを恐れずに活発な発言をのぞむ。

—松岡先生の会話のクラスを併せて履修することがのぞましい。

〔教科書〕 『La France en Direct 1』のプリント

## 中 国 語 F

堀 田 洋 子

一、二年で学習した中国語の語法や知識を、再確認しながら、現代作家（老舎、巴金、謝冰心等）の短篇を講読していきます。

〔教科書〕 開講時に指示します。

## 中 国 語 F L L

果 荃 英

中国語を選択した2年以上の学生を対象とし、やさしい中国語の会話の練習を目的とします。視聴覚教材（フィルムストリップ）を使用して反復練習で日常会話を習得したいと思えます。

〔教科書〕 教場にて視聴覚教材のコピーを配布する。

## スペイン語 F

佐 藤 玖 美 子

この授業は、1・2年で習得した知識を更に発展、深化させることを目指しており、特に講読力と作文力の養成に力を入れたいと思う。

テキストは受講者の程度によって、適当なものを選ぶ予定。

## スペイン語 FLL

フワン・ナバロ

スペイン語初級を終えたものを対象に、スペイン国営放送より送られた教材用ビデオを使用し、画面のドラマを見ながら楽しく授業を進めたいと思っている。

## ロシア語 F

タチャーナ・パリーソヴナ・野村

本講座はロシア語初級課程を終えたものを主たる対象とする。ロシア語の読解力と表現力の養成を目標としたい。

〔教科書〕 教場にてコピーを配布する。(無料)

## ロシア語 FLL

タチャーナ・パリーソヴナ・野村

テキストに従いやさしいロシア語の日常会話を学習する。正しいロシア語の発音やイントネーションを練習し、簡単なロシア語の表現力を身につけることを目的とする。

〔テキスト〕 『ロシア語を話しましょう』を使用する。

## 日本語 F (留学生対象)

杉山 秀子

本講座は昭和57年度に初めて設置された日本語の随意科目である。対象者は駒沢大学に在籍している1年から4年までの留学生とする。とりわけ日常生活の意志伝達にはさほど苦労しないが、若干こみいった内容の説明や、正しい表記、用語法などに困難を感じている留学生諸君は是非受講されることが望ましい。なお、受講者の日本語のレベルもバラバラであると予想されるので、授業の最初に簡単なアンケートとテストに答えてもらい、その後細目について詳しく説明をする。授業では最新のビデオやスライド等を駆使しつつ、現代生活に密着した正しい日本語を修得することを旨としていきたい。

〔教科書〕 面談の上決定します。

# 基礎教育科目

## 経済学概説

大石雄爾

現代世界には、資本主義社会と社会主義社会というその運動法則を全く異にする二つの社会が存在する。これら二つの社会は全く無関係に存在するのでもなければ成立したのではない。そして、われわれがその中で生活しているところの資本主義社会も人類社会の発展過程でその一段階として成立したものである。資本主義とは一体どんな原理にもとづく社会なのか、それはどのような歴史的な位置づけを与えられるのか。本講義では、資本主義にいたるまでの人類社会の発展段階について概説し、あわせて資本主義社会の運動法則の解明を課題とする経済学の性格について言及する。

## 経済学概説

斎藤正

- I 人間社会と経済活動—科学としての経済学
- II 資本主義の発展と経済学の発展
- III 経済学の体系
- IV 現代経済学の課題

〔教科書〕 伊東光晴・佐藤金三郎『経済学のすすめ』（筑摩書房）

〔参考書〕 適宜指示する。



# 専門教育科目

## 1年次必修科目（商学科）

会計学総論

飯岡透

本講義は1年生を対象として、会計学の基礎的な理論と技術を総合的かつ体系的に取扱うことを目的としている。すなわち、会計の意義と役割、会計学の研究領域、現行の企業会計制度などを概説したのち、企業会計の計算構造の基礎をなす複式簿記のメカニズムをとりあげ、その原理と基本的な手続を修得させ、簡単な貸借対照表と損益計算書を作成できる能力を養成する。

本講義は2年生以上で履修する簿記論、財務会計論、原価計算論、会計監査論、管理会計論および税務会計論など会計学関係の諸講座の前提科目となるものである。

〔教科書〕 最初の授業で指示する。

会計学総論

加藤利安

企業会計について平易に解説したテキストを使用して講義する。講義のすすめ方や使用するテキストについては、最初の授業時に知らせる。

## 1年次選択科目（経済学科）

会計学総論

竹林代嘉

会計は、企業を中心とする産業社会のなかで、さまざまな目的のために使われており、その科目内容には、財務諸表論、管理会計、原価計算、税務会計、資金会計、経営分析など多種多様なものが含まれている。この講義では、これらの全般にわたって、目的や職能、会計諸基準、歴史的な経過、計算の仕組み、報告書の特徴などについて概観しながら会計学の全体像を理解してもらうことを意図している。

〔教科書〕 未定

〔参考書〕 染谷恭次郎『会計学』（中央経済社） ￥1,600

青木茂男『会計学総論』（中央経済社） ￥1,600

井下武厚編著『現代会計論』（中央経済社） ￥1,700

## 2年次必修(経)・選択(商)科目

### 経済原論

戸田武雄

経済学は一つの科学，社会科学の一つである。その対象は何か。社会発展の法則と生物進化の法則。唯物史観と広義の経済学。社会発展の一般法則と商品生産への発展。

狭義の経済学。商品と貨幣，貨幣はどうして資本になるか。剰余価値の源泉とその生産絶対的剰余価値と相対的剰余価値。資本の蓄積，単純再生産と拡張再生産，人口法則，資本の本源的蓄積——流通過程，資本の変態と循環，資本の回転，再生産の表式，賃金と利潤，平均利潤率の形成，利潤の具体的な諸形態，銀行資本と金融資本，株式会社，自由競争から独占へ，恐慌，帝国主義と資本主義の全般的危機。

〔教科書〕 戸田武雄 新版『経済原論』（学文社） ¥ 2,200

〔参考書〕 戸田武雄『資本論と日本経済』（法政大学出版局） ¥ 1,800

### 経済原論

横山正彦

経済原論は，経済科学の現在到達している理論水準の概要を全体にわたって説明する，いわば総論部分に当たる。このことは，各論部分への Introduction の役目をも担っていることを意味している。

しかし，経済科学は，他の諸科学に比べて，甚だしく，諸説が並存し錯綜している。

片寄ることなく，(1)序論—(2)生産論—(3)交換論—(4)分配論—(5)経済発展論の順で，説明を行ってゆく。

〔教科書〕 なし

〔参考書〕 横山正彦編『経済学概論』（有斐閣）

### 経済原論

阿部(小谷野)弘

- I. 資本関係の展開
- II. 「国富」体系の展開
- III. 社会的所有体系への移行

をテーマとする。周知のように，現在の「富」に対する考えは二分している。わたくしたちが是非必要であると考える「富」も，資本にとっては利潤があらなければ「富」とは看做されない。公害・薬害であると言われながら，企業，ひいてはGNPの成長の観点から必要であるとされる。階級的なものを見かたが成立しているのである。その原点から，このような「対立」を克服していく条件の成立にいたる過程を論理的に追ってみる。具体的な事実なども織り混ぜて講義をしていく。

## 経 済 政 策

石 井 啓 雄

この講義では、客観的過程たる経済過程とそれに働きかける経済政策の主体たる国家の間の基本的関係をふまえた上で、第一に、資本主義社会における経済政策の展開を発展段階と関連づけて講義する。その上で第二に、主として日本の現実によりながら、現代における経済政策の主要問題について講義する。なお余裕があれば、諸外国の経済政策や日本の土地政策・農業政策についても論及したい。

講義はノートにより、口述を中心とするが、参考書・必読文献等については、最初の講義の際および講義の進行状況に応じて随時指示する。

## 経 済 史

永 田 正 臣

資本主義の成立・発展について、それが典型的になされたイギリスに基づいて講義を行う。資本主義は産業革命を画期として本格的に展開する。講義では産業革命に重点をおき、それに先行する発展段階において、産業革命成立の歴史的諸条件がどのように生成されるか、さらに産業革命を画期として資本主義がどのように質的变化をとげるか等々、資本主義発展の法則性に即して話を進めたいと思う。なお日本との比較にも留意したいと考えている。

〔教科書〕 永田正臣『イギリス産業革命の研究』（増補改訂版）（ミネルヴァ書房）  
¥ 2,400

〔参考書〕 M. ドップ『資本主義発展の研究』Ⅰ―Ⅱ（岩波書店）  
T. S. アシュトン『産業革命』（岩波文庫）

## 2 年次選択科目

### 民 法 一 部

雨 宮 眞 也

民法のうち、総則・物権・担保物権の分野を講義する。

とくに、民法総則の分野においては、法律を学ぶうえで最も基本的な多くの考え方が現われてくる。たとえば、法律行為（契約も手形行為も法律行為の一種である）とは何か。その成立・不成立、有効・無効などについての考え方である。

三年次以降において、民法Ⅱ・商法・経済法など法律科目を履修しようとする者は、民法Ⅰを履修しておくべきである。

〔教科書〕 雨宮眞也外二名共著『民法読本Ⅰ（総則・物権・担保物権）』（高文堂出版社）  
¥ 1,580 なお、来年度「民法Ⅱ」を履修する予定の者は、民法読本Ⅰ・Ⅱの合本である『民法読本（財産法）』¥ 2,350 を購入しておくこと、引続き使用できる。

## 会 計 学 (経)

遠 藤 孝

会計学は何を解明する学問なのだろうか。またこの学問の解明にはどのような方法をとったらよいのであろうか。先ずこのこと(会計学の対象と方法)の解明に時間をとりたい。次いでこの対象と方法に従い、資本主義に存立する会計の性格、資本主義における会計の果す役割、資本主義会計の基本構造—損益計算構造、財産計算構造、会計理論構造など、基盤の変化とともに発展的なものとしてとらえ講義する。

教科書、参考書は講義の最初の時間に指示する。

## 商 学 総 論

大 吹 勝 男

現代資本主義社会において生起する流通・商業にかかわる諸現象を科学的に分析するために必要な理論の取得につとめ、そのうえで戦後日本の特に1930年代以降の商業構造の変化を考察し、更にその変化を促進させたと考えられる戦後政府の商業政策を検討する。

〔教科書〕 特に使用せず。

## 上 級 簿 記

加 藤 利 安

複式簿記の基本原則を個々の特殊領域に拡大し、細部の点にわたって解明し、その習得を目指して講義する。複式簿記の歴史的生成、発展から始めて、勘定科目、帳簿組織、特殊売買取引の処理、株式会社会計、本支店会計、財務諸表の作成に至る予定である。講義はノートで行う。また、毎時出席をとる。

〔参考書〕 簿記会計講座2『上級簿記』他

## 憲 法

齊 藤 寿

この講義は、憲法の「しくみ」と「はたらき」について、興味深い講義を続けながら、楽しく研究します。

前期には、「人権の“しくみ”と“はたらき”」について、後期には、「統治の“しくみ”と“はたらき”」について、講義します。

これらの講義は、一年を通じて、極めてユニークに、そして楽しい雰囲気の中で行なわれます。

〔教科書〕 拙著の中から、講義の際、選択・指示します。

## 経営経済学(経)・経営学総論(商)

寺 中 良 二

経営学には大別して企業論と管理論という二つの学問領域がある。企業論の展開として個人企業、合名会社、合資会社、有限会社、株式会社(初期・近代・現代)、公企業、ソ連

型中央集権的社会主义企業，ユーゴ型自主管理的社会主义企業について体系的に講義を展開する。特に資本主義企業の最も支配的企業形態としての株式会社制度と、それに今日世界的に最も徹底した経営参加制度としての労働者自主管理型ユーゴ社会主义企業制度とにつき詳細に解明する。併せてそれぞれの体制・制度における現実の企業の歪みを認識しヒューマニズム・民主主義・自然環境保護主義にもとづく企業の新しい在り方を探りたい。さらに管理論においては、現代の官僚制の大規模組織体社会における人間の疎外状況を克服するのに少しでも手掛りとなりうると考えられる人間主義的管理論学者の所説に言及する。以上二つの領域ともに、経営学という学問が、人間の幸福に少しでも役立ち得ればと思う。

上記のこれまでの講義内容のうち、本年度は、とくにユーゴ企業の労働者自主管理についての特別講義に重点を置きたい。このため、それらに関する著書、論文、訳書など重要な文献を検討・解説していく。

## 会 計 学 (商)

長谷川 忠 一

企業の経営成績と財政状態を適正に計算表示することは、その企業と密接な利害関係を有する者にとって非常に重要なことである。そこで本講義では、「一般に公正妥当と認められた会計処理の基準」を企業会計原則に従ってその内容を講述するとともに、決算財務諸表の作り方と見方を概説する。なお、本講座は簿記の知識と技能を必要としているので、選択希望者は必ず簿記学を履修した者に限る。

〔使用教科書〕 拙著『決算会計の理論と実務』（中央経済社）

## 商 業 史

藤 井 光 男

日本の経済あるいは企業には、歴史的にみて商人的・流通主義的活動の特色がたつと指摘される。明治期政商の活動、在来産業と問屋の関係、貿易商社の形成と総合商社化などはその主なものであるが、この他にも中小企業その他、産業資本の流通主義的活動、下請組織の利用経営多角化の特質から、さらには現代多国籍企業の日本の特質に至るまで、多くのことが指摘できる。

授業ではこれらの特質に注意しながら、近・現代商業史について講義をおこなう。

〔教科書〕 藤井光男編著『経営史(日本)』経営会計全書3（日本評論社）

## 統 計 原 論

吉 野 紀

統計学を学ぶに当って統計的手法を理解することは不可欠であるが、それが全てではない。特に経済学のような経験科学に応用して実証分析を進めたり、情報化社会の中で将来の行動の選択に直面した時の判断を統計学に求めようとするときには、何らかの誤差と不確実性を伴うことが避けられない。その意味では推測統計学の基本的な考え方を理解する

ことが大変重要になってくる。数量化された統計データの処理方法を推測統計の文脈の中で扱いつつ、得られたデータ処理の結果を質との関連でどう評価するかについても度々言及されるはずである。

〔教科書〕 ホーエル『初等統計学』（倍風館）

〔参考書〕 大橋隆憲『日本の階級構成』（岩波新書）

Moroney “Facts from Figures” Pelican Books

### 3・4年次選択科目

#### 農業政策

浅田 喬二

本年度は、旧植民地（台湾、朝鮮、「満州」）における日本人大土地所有の検討を行う。日本人地主は植民地農村の民族的・階級的支配者であり、また、日本帝国主義が植民地を支配するための社会的支柱であった。講義の重点を、(1)日本人の地主化過程、(2)小作制大農場の経営内容、(3)日本地主制の植民地型の特質、(4)日本農業と植民地農業の関係、(5)日本ファシズムと農業農民問題、(6)満州農業移民、の解明に置く。

参考文献は、講義の最初の時間に知らせる。

〔教科書〕 浅田喬二『日本帝国主義と旧植民地地主制』（御茶の水書房） ￥2,500

#### 近代経済学

浅野 克己

現実の経済問題や経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を体系的に修得する。

内容は以下のとおりです。

##### I. ミクロ経済学の理論

1. 消費者行動の理論
2. 企業行動の理論
3. 価格決定

##### II. マクロ経済学の理論

1. 経済の循環と国民所得の概念
2. 所得の決定と変動
3. 経済成長理論

##### III. 現代の経済問題と経済学の課題

〔教科書〕 } 最初の講義で教科書、参考書、その他について説明する。  
〔参考書〕 }

## 価 格 理 論

荒 木 勝 啓

本年度は、次の順序で講義を行う。

- (1) 需要理論
- (2) 生産理論
- (3) 均衡理論と不均衡理論
- (4) 価格理論における古典派と新古典派
- (5) 寡占理論の基礎

このうち中心となるのは(3)と(4)であるが、それに先立つ基礎的部分 ((1)と(2))に、今年は充分時間をかけるつもりである。

## 商 法 一 部

荒 木 正 孝

本講義は、商法総則と会社法を対象とするが、年間の講義時間の制約上、現代資本主義社会において我々の経済生活に重要な影響を及ぼしている会社制度、なかでも株式会社の私法的側面を規制し、その生成、機能、構造等を規律する会社法の解説を中心に講義を進めていく。

本講を選択する者は、2年次において民法一部を履修済みであり、かつ3年次以降において民法二部を履修していることが望ましい。なぜならば、商法は民法の特別法の一つであり、民法上の制度や考え方を前提として成立しているからである。

〔教科書〕 福井・荒木『商法Ⅰ』（成文堂）

## 経 済 学 史 Ⅱ

有 井 行 夫

主としてカール・マルクス以降の経済理論の発展を概説します。市民社会の科学的把握として出発した経済学が、認識方法の2つの選択可能性にもとづいて、2流派に分化し純化したこと、マルクスの経済学の成功の必然性、「現代」としてあらわれた市民社会の構造変化を把握する観点は、本来どのようなものであったか、等について論じます。

〔教科書〕 『資本主義の原理と歴史』（青木書店）

『マルクス主義の経済思想』（有斐閣新書）

## 民 法 二 部

雨 宮 眞 也

民法のうち、債権法の部分を講義する。

現代社会の法律関係の大部分は、契約に因り発生する債権債務の関係として構成されている。諸君が下宿で生活することも、バスに乗って通学することも、大学で講義を受けることも、書店で本を買うことも、これ全て契約による債権債務の関係であり、債権法の対象である。

契約の理論を中心に講義を進める予定である。

〔教科書〕 雨宮真也外二名共著『民法読本Ⅱ(債権法)』(高文堂出版社) ㉿ 1,280  
但し、前年度「民法Ⅰ」を履修した者で「民法読本(財産法)」を購入済みの者は引続き使用できる。

## 会 計 監 査 論

飯 岡 透

財務諸表監査の目的は企業の作成した財務諸表がその企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて監査人が意見を表明することである。

本講座では、主要国の監査制度の概要、監査担当者、個別財務諸表・中間財務諸表・連結財務諸表の監査手続および監査報告書などについて検討を加える。

さらに最近問題になっている粉飾問題についても言及したい。

〔教科書〕 最初の授業で指示する。

## 労 務 管 理

石 井 修 二

労務管理とは、経営者が雇い入れた従業員・労働者から最大限の労働能率を引き出すために彼らに働きかける場合の諸技法・理論・理念の総体である。この講義では、主としてアメリカにおける労務管理実践に目を向け、そこでの労務管理実践を導き出した諸理論とそれらの諸理論が一貫して問題としてきたものが何であったのかを考えてみたい。この問題の検討を通じて、今日多くの関心を集めている「労働の人間化」や「労働者の経営参加」といわれるものもつ限界と可能性、更にはこれらの問題に企業が関与せざるをえなくなる必然性を明らかにすることができるのではないかと考えている。

〔教科書〕 副田・原田編著『経営労務論』(ミネルヴァ書房)

〔参考書〕 奥林(他)著『労務管理入門』〔新書〕(有斐閣)

## 交 通 論

石 井 彰 次 郎

交通の概念規定から始まり、資本主義経済における交通資本の本質・形態を論じ、更に政府による交通事業規制に触れる。

〔参考書〕 『企業規制論』(白桃書房)

## 保 險 論

石 名 坂 邦 昭

保険はわれわれの経済生活になくはならない経済施設であり、その歴史は古く、企業活動や家計経済と深く結びついている。保険は企業危険の移転策として、機関投資家として、さらには家計の安定をはかるものとして広く活動している。本講義においては保険の本質、保険の意義、保険の歴史を把握し、さらに生命保険、損害保険、社会保険等につき



くわしくみて行くことにより経済学の一分科としての保険，さらには経営学の一分科の保険を明確にして行きたい。

〔参考書〕 『リスク・マネジメント』（白桃書房）『損失予防と経営者の役割』（税経協会）

## 国際金融論

池田 健

拙著国際金融論により国際金融の理論を講じ，なお必要により時事問題を解説する。

## 商品学

塚原 博

商品学の対象から始め，商品学の歴史，商品の分類，商品の品質，鑑識，貿易と商品，商品と関税，商品と法律等を論じ，企業における商品政策（特に新製品の開発と技術・特許・ノウハウなどの諸問題）を述べ，更に消費者の立場から見た商品について考察する。

次に個々の商品について——食系商品・衣系商品・住系商品・化学商品・機械商品（家庭電器，電子計算機，自動車，工作，産業機械など）を具体的に学んでゆく。

〔参考書〕 上坂西三『商品学概論』（同文館）

## 中国経済論

小杉 修二

中国の社会主義建設の型は，ソ連モデル，毛沢東モデル，「中国モデル」と三転してきた。本年度は各モデルの特徴を考えると同時に，それらが採用され，変遷してきた理由を①中国の採用した国家目的，②中国社会主義建設の行なわれた歴史的條件，③出発点となっている地理的條件 という三つの條件の組合せとその変化とから論じる。

〔教科書〕 小杉修二「中国の国家目的と経済建設」（上・下）（『中国研究』No. 129, 130, 日中出版，1980年刊）

〔参考書〕 小杉修二「中国の国家目的と今日の中国論」（『中国研究』No. 126, 1980年刊）

## 経済法

江上 勲

資本主義の高度化した段階において，見えざる手の導きによる国民経済の自然的調和が達成しがたくなった状況に対応し，資本主義の基本法である市民法を補完し，基本的に市場経済を維持しながら国家の経済への干渉により経済の全体的調和をはかるための一群の法が経済法である。本講義は，かかる経済法の意義と特色を明らかにしたのち，経済法の主体をなす独占禁止法の概括的内容を具体的事例を引用しつつ説明する。

〔教科書〕 江上勲『経済法・独占禁止法概論』（税務経理協会） 定価 3,000円

〔参考書〕 開講時に指示する。

## 財務諸表論

遠藤 孝

2年次設置科目「会計学」を基礎として、会計学のうち特に財務会計を講義する。貸借対照表、損益計算書などの財務諸表を手段とする企業活動一情報を伝達し、意志決定に資するものとされている財務会計—公表会計の解明を目的とする。財務諸表による会計の公表あるいは隠蔽は現在では国家が定めた制度にもとづく、国の社会経済問題の一つとして、また最近では国際的な問題として理解しなければならない。こうした観点から次の三つを柱として講義を展開する。1. 財務会計の制度性の解明、2. 各国における財務会計制度の展開、3. 財務会計制度の構造と機能の分析、それと現代的課題として、連結財務諸表、国際会計基準などを問題とする。

〔教科書・参考書〕 講義の最初の時間に指示する。

## 労働法

掛谷 力太郎

本年度は労働法と労働管理の法理について、概ね次の項目の講義をおこなう。

1. 労働法生成発展の歴史
2. 労働法学の発展過程
3. 現行労働法の問題点
4. 近代的労働法と労働管理の法理
5. 公共部門労働者の労働基本権
6. 社会制度と労働法——資本主義社会と社会主義社会の労働法比較

〔教科書〕 掛谷力太郎『労働法理論と労働管理の法理』（高文堂出版社）

## 証券市場論

柿崎 暎次

証券市場は金融市場とともに、経済機構の動脈にたとえられている。本講義では証券市場の機構・現象を分析し、体系的に講述する。概ね以下の順序による。

1. 証券市場の歴史
2. 各種証券の内容
3. 発行市場の構造
4. 流通市場の構造
5. 証券取引所——機能、経営形態、取引主体、上場制度、売買取引の方法——

〔教科書〕 上林正矩『新版証券市場論』

〔参考書〕 『図説日本の証券市場』

## 原価計算論

加藤 利安

本年度は、原価計算の歴史的発展について講義する。教科書は指定しない。ノートで講

義し、参考文献を授業中で掲げることとする。授業内容については最初の授業時に説明する。

## 工業政策

劔持通夫

戦前、戦後の世界主要産業の形成、構造、発展および衰退に関する歴史的、経済的諸条件と諸過程を明らかにし、その産業を動かす本質を学びながら、経済発展の法則を体系的に知るといふ工業経済論を主体とし、将来の産業構造の在り方を研究するものである。その講義内容は、第1章 工業経済の意義（産業経済の意義、産業構造、産業組織、市場構造、価格理論、寡占理論、産業理論）。第2章 世界主要産業の成立と発展。第3章 世界主要鉄鋼業の成立と発展。第4章 転換期の世界経済と産業構造の変化。以上を講義案によって実施するが、参考文献はその都度指示する予定である。

〔教科書〕 『工業経済論』など。

## 経済地理

上坂修夫

経済地理は、経済諸現象の地域的分析を行う学問である。この講義では、経済現象をいかに地域に即して見るか、また、各地域をいかに全体の経済的構造の中で捉えるかという目を養うことをめざしながら、具体的な各地域の経済的变化と現状の分析を通じて経済現象の地域的構造について学習していく。特定のテキストは使用しないが、参考文献についてはその都度指示する予定である。

## 日本経済史

古庄正

私たち日本人は、これまで原始共同体社会、奴隷制社会、封建制社会、資本主義社会といういくつかの社会構成体を経験してきました。日本経済史の課題はこのような社会構成体の再生産の仕組みを主として経済構造の側面から明らかにするとともに、社会構成体間の移行の必然性を具体的に解明することにあります。しかしこの講義ではそうした日本経済史全般にかかわる問題を取り扱うのではなく、明治維新後の経済史＝日本資本主義発達史に対象を限定しようと思います。そこで基本テーマは次のとおりです。

〔1〕 日本型原蓄論 〔2〕 日本産業革命論 〔3〕 日本帝国主義論

## アジア経済論

小林英夫

今年は、日本とアジアの関連を思想史面から論ずる。石原莞爾、北一輝、井上日召など、日本とアジアの関連を模索した思想家を検討する。後期は、その思想の実態面を分析するため、日中戦争後の日中関係を検討する。

金融論は、信用論を基礎としながら、資本主義の発展段階に応じて信用形態、制度、政策がどのように変化するかを究明する学問である。

本年度は、金融制度とりわけ銀行および庶民金融制度を取り上げる。もっとも金融制度といっても、先進国と後進国とではその発展の態様を異にする。そこで先進国イギリスと後進国ドイツ、日本の相違を念頭におきながら、その性格と機能の変化を中心に講義を進めてゆく。

〔教科書〕 追って知らせる。

## ヨーロッパ経済論

清水 卓

第2次大戦の戦後復興を1950年代の初頭に完了した西欧諸国は、冷戦体制下、50年代を通して「高度成長」を実現した。この繁栄局面は、57、58年不況を転機に、その成長の限界を露呈してくる。植民地体制の崩壊、ドル危機の深化、ベトナム戦争に象徴される戦後アメリカ体制の動揺という国際秩序の転回と共に、繁栄を続ける西欧「先進国」内部においても、インフレや高度成長に伴う社会的矛盾（公害、政治腐敗、離農、テロ等々）の累積によって、仏5月革命、伊69年暑い秋に示される社会的動揺を必然化した。こうした「高度成長」の「栄光」と「挫折」の論脈の中で、戦後西欧資本主義国の経済と社会を分析する。

## アメリカ経済論

瀬戸岡 紘

現代資本主義世界の支柱としてのアメリカの経済事情をわかりやすく解説する。その方法は、現代アメリカ経済をできるだけひろい視野からとらえていこうとするところにある。たとえば、歴史的には植民地時代いらいの特徴を検出し、部門的にはあらゆる領域を考察の対象にしてみるとか、単にアメリカにかぎらず世界全体のなかでこの国を位置づけてみる、など。そうすることによってえられたアメリカ資本主義の現段階の特徴をもとにアメリカ金融資本の実態、いわゆる「多国籍企業」の動態、経済と国家や軍部との関係、労働者や民衆の生活の現状、日米経済関係などを再検討していく。さらに、アメリカ資本主義の世界史的地位についても吟味したい。われわれは、アメリカを美化しすぎではならないし過小評価してもいけない。この講義は、現代アメリカ経済を冷徹な眼でつかみ、将来の日本のありかたと私達の生きかたをさぐるための一助としたいとかがえている。講義は、われわれが興味をひかれるような資料にもとづいてたのしくすすめたいが、学習意欲のない学生の参加は遠慮ねがう。年間の講義をとおして出席したうで、きちんとした小論をまとめた者のみが単位を取得しうる。なお、よりふかめて学習したい者は、私の外書講読とあわせて履修することをすすめたい。また、この講義はなるべく3年次生のうちに履修することをすすめる。

## マーケティング

曾我信孝

マーケティングが極度に発達した今日、様々な部面で利害関係が表面化し多くの対立をもたらしている。このような問題が起こる必然性をマーケティングの発達と関連させて解明していく。したがって、マーケティングの発達と収奪関係を明確にし、そこから生じてくる対立関係がマーケティングに与える影響、つまりマーケティングの変化を考察していく方法をとる。

## 商業政策

岩下弘

日本における国内商業政策に限定し、独禁政策、中小商業政策、消費者政策を主として講義する。

〔教科書〕 なし

〔参考書〕 その都度指示

## 国際経済論

徳永俊明

資本主義世界経済の歴史と第2次世界大戦後の資本主義世界経済の主要問題についての基本的事項の解明・整理を目標とします。講義内容はつぎのとおりです。

I. 資本主義世界経済の歴史（時期区分と各時期の歴史的位置づけ）

II. 第2次世界大戦後の資本主義世界経済（歴史的位置と基本構造、貿易、国際通貨制度、資本輸出——「援助」と多国籍企業、新植民地主義、「南北問題」と新国際経済秩序、資本主義世界経済の危機、日本経済と世界経済、その他）

〔教科書・参考書〕 教場にて指示します。

## 管理会計論

長松秀志

現代管理会計の論拠、基本的性格、対象、方法、発展過程、目的、計算構造および現実的役割等を体系的に講義し、現代管理会計の中心課題である意思決定会計の理解を深めるように講義する。

〔使用教科書〕 長松秀志『現代管理会計』（税務経理協会）

〔参考書〕 学年始めに指示する。

## 財政学

西村紀三郎

- (1) 財政学の推移を概説し、その間の財政問題を解説して、財政の当面する諸問題を提示する。財政学が現代の財政問題をどうとらえるかが中心課題となる。
- (2) 財政学で通常とりあげる原理、法則等を概説して、その現代的意義を再検討する。原

理等は今も妥当か。

- (3) 財政活動の理論的整理把握のために、財政の現実体の理解につとめる。そのため財政の制度、歴史の説明と現状の解説を多くとり入れる。
- (4) 上記の理解にもとづく財政政策の課題を明らかにし、政策のあり方と政策理論の研究の重要性を示す。
- (5) 以上を要約すれば、伝統的財政学に対する新しい現代的財政学の探求を課題とすることになる。

〔参考書〕 西村紀三郎『財政学新論』〔改訂増補〕（税務経理協会）

肥後和夫『財政学要論』〔新版〕（有斐閣）

木村元一『近代財政学総論』（春秋社）

## 財 政 政 策 論

里 中 恒 志

経済生活の中で公共部門の関与する比重は確実に増加しつつある。近代経済学の発展とともに、財政学においてもそれをとり入れたかたちでの財政理論が展開されてきた。そしてそれにもとづく財政政策は重要な経済政策の一つになっている。財政政策が国民経済に機能するメカニズムについてその論理を検討するとともに、公共支出政策、公共収入政策についてそれらの基本的な理論及び基準を紹介し、政策に対する判断力を養う。また国民が財政政策の意志形成に参加する方法は民主主義的な手続をとおしてであるから、適切な財政政策の実現のために、国民が財政をコントロールするルールとその背後に作用し合う諸力について検討する。

〔参考書〕 G・シュメルダース、山口忠夫他訳『G・シュメルダース財政政策』（中央大学出版部）

## 景 気 変 動 論

西 村 允 克

全体としての経済は、好況と不況の交替を繰り返しながら拡大発展してきている。前者が景気変動、後者が経済成長ないし経済発展とよばれる現象である。この講義は、下記テキストを参照しながら、これらの現象を理論的に理解・把握するための基礎的論理展開に重点をおいて進められる。

テキストを利用した平易な講義を考えているが、単なるやさしさではなく、積み上げによるやさしさであるから、受講者は出席し、講義において繰り返し述べられる経済理論の基礎的考え方を十分身につけ、自分の経済的な考え方を確立してもらいたい。

〔教科書〕 大谷龍造『経済変動論』〔近代経済学双書〕（同文館）

## 税 務 会 計 論

長谷川 忠 一

わが国では現在、申告納税制度が行われているので、納税義務があるものは、すべて税

法を理解し、自らの課税所得と税額を正確に計算納付しなければならない。そこで本講座では、株式会社を中心とした税務上の所得計算原理を講述するとともに、それに関連する企業会計や商法計算規則なども併せて説明し、総合的な見地から近代税務会計の理論を探究する。したがって、本講座の選択者は、簿記学と会計学を履修した者か、又はそれらの併行履修者に限る。

〔使用教科書〕 拙著『税務会計入門』（14訂版）（同文館）

## 経営管理論

百田義治

現代企業における経営管理の「近代化」は理論的にも実践的にもアメリカに発達した管理理論と管理技術の導入を契機としている。この講義では、アメリカにおける経営管理の理論と実務の発展史を素材として、経営管理の理論と実践における主要な諸問題をできるだけ多くとりあげ、できるかぎりその底に流れているもの（合理化・近代化と民主化・人間の全面的発達といったこと）を科学的にとらえたいと考えている。勿論、我々にとっての究極的課題は現代日本企業の具体的な経営管理諸問題の科学的解明であり、最近の「日本の経営論」あるいは技術先端部門と経営管理といった今日的諸問題についても言及したいと考えている。

〔教科書〕 井上昭一・仲田正機・渡辺俊『経営管理概論』（文理閣）

## 商法二部

井上治行

本講義は、手形法・小切手法を中心としながら、さらに運送証券・倉庫証券を含めて、有価証券法として講述する。有価証券の基礎的知識を説明することを主な目的とするが、同時にその理解を助けるために、できるかぎり具体的な設例を用いて説明する。

〔教科書〕 最初の講義で指示する。

## 貿易論

古沢紘造

現代資本主義論をふまえて、わが国の貿易・資本輸出の現状を分析し、日本資本主義の対外関係をより深く理解することに努める。戦後体制の解体と国際関係分断の危機をかかえこんだ今日の世界資本主義再編成の中で、日本資本主義はどのような対応をせまられているのか、またそれに伴っていかなる新たな矛盾が生じてくるのか、を考えてみたい。なお参考文献については講義の進行にあわせて指示する。

## 銀行論

本間靖夫

講義は以下の三点を中心的課題として行います。

1. 銀行論を学ぶ前提としての近代的銀行の成立と歴史についての基礎理論を深めるこ

と。

2. 銀行の主要業務についての説明。
  3. 戦前、戦後における銀行経営の実際についての説明。
- 〔教科書〕 講義中に適宜、指示します。

## 中小企業論

三井逸友

わが国の経済社会の「多数派」は中小企業であり、就業人口の大部分はそこに働らいている。このことは裏返せば、わが国の資本主義発展の歴史の「光と影」両面を中小企業が担ってきた、ということの意味をしよう。本講義では、これら中小企業の存立する要因を、現代資本主義の法則に照らして、歴史的・構造的に解明するとともに、中小企業「問題」の意味と展開を現実の中からおい、さらに中小企業の果たす役割を考えてみたい。

〔教科書〕 佐藤芳雄編『ワークブック 中小企業論』（有斐閣）

〔参考書〕 『中小企業白書』〔各年次〕、佐藤芳雄編著『巨大都市の零細工業』（日本経済評論社）

## 社会政策

光岡博美

本年度は日本における労使関係発達史を中心に講義を行ってみたい。すなわち、明治前期に日本の社会に労働者達が形成され今日にいたるまで、各時期の労使関係で何が問題となり、どのような問題が解決され、また未解決となり次の時代の労使関係の枠組を形成していったのかを考えてみたい。そして、そうした講義を通して日本の民衆の歴史をふりかえりながら、現代に生きるわれわれがどのような課題に直面しているのかを考えていきたい。

〔参考書〕 隅谷・小林・兵藤共著『日本資本主義と労働問題』（東京大学出版会）

## 人口論

森岡仁

イギリス古典派経済学者マルサス（T. R. Malthus）以来経済学における地位を確実なものにした人口論を、歴史、理論、政策の諸側面から総合的にとらえ、経済人口学への接近を計る。更に、古くは人類の歴史を先史時代にまでさかのぼり、新しきは現代から将来に至る日本および世界の人口問題にまで説き及ぶであろう。

〔教科書〕 森岡仁他『経済人口学』（新評論）1981年

〔参考書〕 大淵寛『人口過程の経済分析』（新評論）1974年。南亮三郎『人口思想史』〔初版〕（千倉書房）1963年



## 日本経済論

森 武 磨

日本における国家独占資本主義の成立と展開を歴史的に明らかにする。1930年代の世界大恐慌の時代から、第2次世界大戦に至る戦時国家独占資本主義、大戦後の戦後変革による国家独占資本主義の再編と発展（「高度経済成長」）の過程をみる。とくに労働者と農民を中心とした国民が資本主義の発展をどのように受けとめ、対応してきたかに主題をおく。いわば、労働者と農民よりみた日本資本主義発達史、日本経済論としてのべていきたい。

〔教科書〕 中村政則『日本の歴史29—労働者と農民』（小学館）

## ソヴィエト経済論

山 縣 弘 志

ソ連邦は第11次五カ年計画期に入っているが、社会主義経済の前途は平坦ではない。80年代の情勢とソ連経済60年の歴史は、我々に常に社会主義の原点に立ち帰り、科学的なアプローチを心懸ることを要求している。

〔教科書〕 講義の中で指示する。

## 労働経済論

山 下 不 二 男

労働経済の理論と現状分析を当面の日本の問題に焦点をおいて説明する。講義の内容は1. 序論 2. 雇用、労働市場 3. 労使関係 4. 賃金と労働時間の4つの分野に分れる。1では労働問題と労働経済学、労働経済学の体系その他の序論的問題、2では、労働市場の意義と構造、労働の供給と需要、失業、雇用対策などの問題、3では、労使関係の意義と歴史、労働組合と団体交渉、争議とその調整などの問題、4では、賃金の理論、賃金構造、賃金と物価、労働時間問題、賃金政策などの問題が取扱われる。講義は特定のテキストによらず、下記の参考書を利用しながら行う。

〔参考書〕 山下不二男『日本労働経済概説』（日本労働協会） ¥ 1,500

西川俊作『労働市場』（日経文庫）（日本経済新聞社） ¥ 550

白井泰四郎『労使関係論』（日本労働協会） ¥ 800

## 国民所得論

吉 野 紀

近代経済学の2本の柱の一つであるマクロ経済学の内容を中心に説明してゆきたい。この分野は特に経済政策との関連が心がけられなければならないが、インフレーションの統御等にはミクロ分析に基づく理論的整備の必要性が強く意識されるに至っていることをも配慮して、現今、論争的になっているテーマも随時とり上げたい。

## 外書講読Ⅱ

石井修二

近年、技術進歩や組織の官僚制化を背景として労働疎外問題への関心が高まりつつある。と同時にこの問題への対応策として先進工業国では、作業組織再編の動きが目立って論議されている。ここでは、各国の動向を知り、作業組織再編がどのように、またいかなる内容をもって展開されているかを検討する。

〔教科書〕 ILO, "New Forms of Work Organization (1)・(2)", 1979.

## 外書講読Ⅱ

荒木勝啓

英字新聞の経済欄が読める程度までの英語力の養成を目標としたい。テキストは

W. J. Baumol and A. S. Blinder, "Economics" (Harcourt Brace Jovanovich, 1979) を使う。実際に役立つ経済英語の単語・熟語を大量に暗記してもらうので、そのつもりで履習すること。

## 外書講読Ⅱ

有井行夫

「修正主義論争」に関する平易なドイツ語文献を読みます。希望によって英語文献に変更することも考慮します。テキストは教師がコピーして配布します。

## 外書講読Ⅱ

浅野克己

平易な英文で書かれた以下のテキストを用いて、経済学の基礎理論を勉強していこうと思います。短時間に英文の要旨を正確に把握する能力の養成を目指します。

〔教科書〕 Richard G. Lipsey & Peter O. Steiner, "Economics," 6th ed., Harper International Edition.

## 外書講読Ⅱ

大吹勝男

今年度は「資本蓄積論」に関する外国語文献（英語）をテキストに使用して輪読形式で進めたいと考えている。積極的に勉強してゆく意欲をもった学生の受講を期待する。なお、邦語の参考文献等については必要に応じて紹介する。

〔教科書〕 現在未定

## 外書講読Ⅱ

小林英夫

『資本論』第一巻をドイツ語で読むこととする。途中、関連文献の検討もあわせておこなう。毎時間、レポートの提出を求める。

## 外書講読Ⅱ

阿部(小谷野)弘

「世界経済の危機」がさげばれ、進行しているなかで最近、ヨーロッパを中心にして、この「危機」を理論的に分析していこうという動きがでてきている。インフレーション、通貨、経済制度などあらゆる側面からの理論的アプローチが試みられている。本年度はこのよな理論的研究にスポットを当てて、じっくりと読んでいきたいと思う。文献についてはプリントをして渡したい。尚、英語の文献とする。

## 外書講読Ⅱ

齋藤 正

TIME, Economist などから経済記事を選択し、時事的な経済問題の読解を行う。

## 外書講読Ⅱ

清水 卓

現代西欧資本主義諸国の経済に関する仏語ないし英語の文献を講読する。参加者各自にパートをわりあて、年度末に翻訳としてまとめる。

## 外書講読Ⅱ

瀬戸岡 紘

現代の資本主義経済の諸事情、とくにアメリカのそれについてかかれた英語の文献をいくつか検討する。これにより各自がはばひろい視野にたつて現代の国際経済、アメリカ経済事情などを批判的に研究していく能力がやしなわれることを目的としたい。もっとも、この膨大な課題を、外国語をつうじて、かぎられた時間で内容をゆたかになしとげることは容易でないので、私の主要講義——アメリカ経済論——と並行させて、その内容をいっそうふかめるのに有意義な文献にしぼってすすめる。したがって、この講義とあわせて履修することをすすめたい。文献は随時選定して配布し、授業ではこれを全員で精読しあわせて内容の検討を講義方式および討論方式にておこなう。1回1回の授業を大切にしたいという意味さえもっている学生なら十分に受講の意義を感じられるような授業にしたい。また、この講読はなるべく3年次生のうちに履修することをすすめる。

## 外書講読Ⅱ

曾我 信孝

今年度は、小売商業にかかわる問題を英語文献を用いて考察する。その方法は報告者によって内容の紹介等をし、その後全員で討論をする。したがって、勉強に対する意欲もっていることはもとより商業に関する知識あるいは興味を持っている学生の受講を期待する。

〔教科書〕 コピーして配布する。

## 外書講読Ⅱ

徳永俊明

〈スペイン語〉——世界経済、とくに発展途上国の経済についての文献を読みます。毎回日本語訳文の提出を求めます。テキストは教場で配布します。

## 外書講読Ⅱ

百田義治

現代アメリカ経営学にみられる多様なアプローチ方法（諸学派）の特質を批判的に検討し、そのことによって現代企業の経営管理の諸問題についての科学的認識を深めることに努力したい。授業のすすめ方については、履修者と協議して決めたい。

〔教科書〕 適時配布する。

## 外書講読Ⅱ

古沢紘造

現代アフリカの社会、経済に関する文献（英語）を輪読する。アフリカは世界で最も遅れた大陸といわれているが、「人間の生活そのものの豊かさ」からみたらどうだろうか。第三世界に対する私たちの考え方の底にある偏狭で独断的なものをみつめなおしてみたい。

## 外書講読Ⅱ

三井逸友

小企業（Small business）論、産業論、現代資本主義論、労働問題、産業史などにかかわる米英の文献のうちから、適当なものを選び、輪読の形ですすめたい。テキストについては、候補となるものをいくつか用意した上、履修者と協議して決める。

## 外書講読Ⅱ

光岡博美

欧米の労使関係論に関する文献を読む。文献については最初の授業で紹介する。

## 外書講読Ⅱ

山縣弘志

ソ連経済に関する平易なリーダーを読む。

〔教科書〕 Вячеслав Стороженко, Беседы о советской экономике. Москва, 1980.

## 教職および資格講座

### 教 職 課 程

学校図書館司書教諭講座

博物館学講座

社会福祉主事講座

社会教育主事講座

※上記の教職および資格講座授業科目の講義内容が掲載されているが、各学部において受講出来る課程および講座は以下のとおりである。（履修についての詳細は「教職課程・資格講座受講の手びき」を参照）

課 程・講 座 名	資 格 取 得 学 部
教 職 課 程	全学部
学校図書館司書教諭講座	全学部
博 物 館 学 講 座	文学部・仏教学部
社 会 福 祉 主 事 講 座	文学部・仏教学部
社 会 教 育 主 事 講 座	文学部・経済学部・法学部・経営学部

# THE HISTORY OF THE UNITED STATES

CHAPTER I  
THE EARLY HISTORY OF THE UNITED STATES

THE first European settlement in North America was made by Christopher Columbus in 1492. He discovered the continent of America on October 12, 1492, while sailing westward from Europe in search of a shorter route to the Indies.

After Columbus's discovery, other European explorers followed, including Amerigo Vesputi, who named the continent after himself, and John Cabot, who explored the northeastern coast of North America.

The first permanent European settlement in North America was founded by Sir Walter Raleigh in 1585. It was named Roanoke and was located on the coast of present-day Virginia.

The Pilgrims, a group of English Puritans, arrived in North America in 1620. They settled at Plymouth in Massachusetts and became known as the Pilgrims.

The Pilgrims were joined by other settlers, and the colony grew. In 1630, a large group of Puritans, known as the Massachusetts Bay Colony, arrived in North America.

The Massachusetts Bay Colony was founded by John Winthrop, who led a group of Puritans to the Massachusetts coast. They settled at Boston and became known as the Puritans.

The Puritans were a strict and disciplined group of people. They believed in a simple life and a strong sense of community. They were instrumental in the development of the New England colonies.

The Puritans were also instrumental in the development of the American education system. They established the first schools in North America, and their emphasis on education led to the development of the American public school system.

The Puritans were also instrumental in the development of the American legal system. They established the first courts in North America, and their emphasis on the rule of law led to the development of the American legal system.

The Puritans were also instrumental in the development of the American religious system. They established the first churches in North America, and their emphasis on a personal relationship with God led to the development of the American religious system.

The Puritans were also instrumental in the development of the American political system. They established the first town meetings in North America, and their emphasis on self-government led to the development of the American political system.

The Puritans were also instrumental in the development of the American economic system. They established the first businesses in North America, and their emphasis on hard work and industry led to the development of the American economic system.

The Puritans were also instrumental in the development of the American cultural system. They established the first libraries in North America, and their emphasis on education and culture led to the development of the American cultural system.

# 目 次

教育原理(汐見 稔幸)……………	1	地誌学概説(今朝洞重美)……………	9
教育原理(上岡 安彦)……………	1	地誌学概説(長野 覚)……………	9
教育原理(村山 輝吉)……………	1	地誌学概説(渡辺 盾夫)……………	9
教育原理(坂本 信昭)……………	1	自然地理学概説(早船 元)……………	9
青年心理学(大浜幾久子)……………	2	人文地理学概説(高木 久)……………	9
青年心理学(渡辺三和子)……………	2	社会学原論(金丸 由雄)……………	9
青年心理学(武井 澄江)……………	2	社会学原論(渡辺 源樹)……………	10
教育心理学(大浜幾久子)……………	2	経済原論(小野 俊夫)……………	10
教育心理学(渡辺三和子)……………	2	政治学原論(飯山 勇)……………	10
教育心理学(中村 均)……………	2	民法Ⅰ(雨宮 真也)……………	10
教育心理学(武井 澄江)……………	3	哲学特講Ⅰ(篠原壽雄)……………	10
道德教育の研究(松田 文雄)……………	3	哲学特講Ⅱ(山下 太郎)……………	11
教育実習(汐見 稔幸)……………	3	宗教学特講Ⅰ(松田 文雄)……………	11
教育実習(上岡 安彦)……………	3	宗教学特講Ⅱ(脇本 平也)……………	11
教育実習(村山 輝吉)……………	3	宗教学特講Ⅲ(洗 建)……………	11
教育実習(坂本 信昭)……………	4	教育史(磯野 昌蔵)……………	12
国語科教育法(神谷 道倫)……………	4	宗教教育(櫻井 秀雄)……………	12
書道科教育法(谷村 義雄)……………	4	教育関係法規(汐見 稔幸)……………	12
宗教科教育法(松本 皓一)……………	4	書道実習Ⅰ(金子 卓義)……………	12
英語科教育法(大沢 一雄)……………	4	書道実習Ⅱ(金子 卓義)……………	12
社会科教育法(地理)(中島 義一)……………	5	図書館学Ⅰ(若林元典)・(山崎 慶子)……………	12
社会科教育法(地理)(高木 久)……………	5	図書館学Ⅱ(若林 元典)……………	13
社会科教育法(歴史)(野呂 肖生)……………	5	博物館学(倉田 芳郎)……………	13
社会科教育法(谷敷 正光)……………	5	博物館実習Ⅰ(館務 倉田芳郎)・(石井則孝)……………	13
社会科教育法(古屋野素材)……………	6	博物館実習Ⅱ(収集 倉田芳郎)・(葉貫磨哉) (所理喜夫)・(加藤晋平)……………	13
職業科教育法(中野日直明)……………	6	博物館実習Ⅲ(見学 倉田芳郎)・(鶴丸俊明)……………	14
商業科教育法(谷敷 正光)……………	6	博物館実習Ⅳ(特講)(石井 則孝)……………	14
商業実習(前田 幸一)……………	7	視聴覚教育(神山 順一)……………	14
職業指導(山田 勇治)……………	7	日本文化史(杉山 博)……………	15
産業概説(和田 禎一)……………	8		
世界史概説(前田 正名)……………	8		
世界史概説(青木 道彦)……………	8		
日本史概説(芥川 龍男)……………	8		

西洋文化史Ⅰ(渡辺 茂)……………15	グループ・ワーク(松本 栄二)……………19
西洋文化史Ⅱ(阿部 重雄)……………15	社会調査(川本 勝)……………20
仏教美術(金子 良運)……………15	児童福祉論(原田 信一)……………20
現代美術(中山 典夫)……………15	老人福祉論(浅野 仁)……………20
禅美術(竹内 尚次)……………16	社会福祉事業史(小沼 正)……………21
美術史概説(杉山 二郎)……………16	社会福祉法制(高橋 政美)……………21
西域美術史(杉山 二郎)……………16	公的扶助論(林 千代)……………21
考古学概説Ⅰ(日本)(倉田 芳郎)……………16	社会保障論(小沼 正)……………21
考古学概説Ⅱ(外国)(飯島 武次)……………17	精神医学(植村 肇)……………22
考古学特講(後藤 和民)……………17	社会教育概論(長浜 功)……………22
考古学特講(坂詰 秀一)……………17	社会教育方法論(上岡 安彦)……………22
日本民俗学(山折 哲雄)……………17	社会教育行政財政(長浜 功)……………22
仏教民俗学(和田 謙寿)……………18	教育社会学(村山 輝吉)……………22
宗教人類学(佐々木宏幹)……………18	社会心理学(水原 泰介)……………23
社会福祉概論(原田 信一)……………18	社会教育施設(村山 輝吉)……………23
障害福祉論(原田 信一)……………18	児童教化(北田 耕也)……………23
社会福祉実習(原田 信一)……………19	青少年問題研究(和田 謙寿)……………23
地域福祉論(岡田 真)……………19	青少年指導演習(和田 謙寿)……………24
ケース・ワーク論(高橋 重宏)……………19	社会教育演習(上岡 安彦)……………24



## 教育原理

汐見稔幸

教育とはなにかということについて人間学的、歴史学的等多面的な方法によってアプローチし、教育の意義、目的、可能性などを考え合う。今日教育問題もとりあげ、その性格の本質についても考える。

## 教育原理

上岡安彦

テキストを中心として教育の固有性の論究を試みる。

〔教科書〕 デューイ・宮原訳『学校と社会』（岩波文庫）

## 教育原理

村山輝吉

1. 教育の意義
2. 教育の目的
3. 教育のしくみ  
(1)家庭教育 (2)学校制度 (3)社会教育 (4)行財政
4. 学校教育について  
(1)学校の特質 (2)教育課程 (3)教授=学習過程 (4)生活指導と学級経営
5. 教師について

## 教育原理

坂本信昭

1. 教育とは何か
2. 教育の目的
3. 教育の内容
4. 教育の方法  
(1) 教授学習の方法  
(2) 生活指導
5. 教育の経営
6. 教育の制度
7. 教師

おおむね上記についてテキストにそって論究してゆく。

〔教科書〕 教師養成研究会編『教育原理』〔4訂修正版〕（学芸図書） ¥ 900

〔参考書〕 デューイ著・宮原誠一訳『学校と社会』（岩波文庫）など、授業で適宜紹介する。

## 青年心理学

大 浜 幾久子

まず青年期に限らず一般に、人間の発達とは何か、について検討する。その上で青年期の様々な問題を取りあげ、それらに対する心理学的な考え方と最近の研究を紹介、解説していく。また性格テストなどの実習も行う。

## 青年心理学

渡 辺 三和子

前期では人格発達の諸問題を取りあげ、人間の発達における青年期の占める位置を考える。後期では、青年期独自の問題を検討しつつ、自己を深め、また中高校生の心理を理解することをめざす。

〔参考書〕 津留宏『青年心理学』（有斐閣双書）

## 青年心理学

武 井 澄 江

青年期を乳幼児、児童期から成人への発達系列の中に位置づける。その上で、人間に特有だといわれるこの時期の発達上の特徴をとらえていく。特に、人格、人間関係、価値観など社会的生活の側面が中心になるだろう。なお、講義の中で、人格検査等の実習も行う予定である。

## 教育心理学

大 浜 幾久子

前半では、発達心理学・学習心理学・人格心理学など現代心理学の各分野の基礎理論のうち、教育にかかわるものを解説する。後半では、学校教育を中心に、教育の現場に即応した様々な問題を取りあげ、教育心理学的な考え方と、それに関連した最近の心理学研究を紹介、解説していく。また知能テストなどの実習も行う。

## 教育心理学

渡 辺 三和子

前期は発達のしくみ、発達と学習を中心に、後期は教校における教授学習の過程について考察する。

〔参考書〕 永野重史、依田明編『教育心理学入門』（新曜社）

## 教育心理学

中 村 均

大人になってしまった者（たとえば、この講義への出席者）にとって、子どもの理解は大変困難である。そこで、子どもがどうしてそのような行動をとるのか、について、心理学の考え方で、説明を試みる。と同時に、望ましいと思われる行動をとらせるためにはどうしたら良いのか、について考えてみる。（発達、および学習）

また、それぞれの子どもに応じた教育的働きかけについて（個人差）、更に、教育的働き

かけがらなくいっているのかどうかをチェックする方法（評価）について触れる。

〔教科書〕 永野重史・依田明共編『教育心理学入門』（新曜社）

〔参考書〕 波多野誼余夫・久原恵子『入門教育心理学』（有斐閣）

## 教育心理学

武井澄江

「発達」「学習」「パーソナリティと適応」「評価」などに関する心理学的知見を概説する。この講義を通して、生徒の学習指導・生活指導の中で必ずつきあたる、専門教科の知識や一般的常識だけでは解決しえない、様々な問題に対処する基礎を身につけてほしい。

## 道徳教育の研究

松田文雄

道徳の定義、道徳教育の歴史、その位置づけ、方法論などを体系的にまとめてみたい。

〔教科書〕 『道徳教育の研究』〔改訂版〕（学芸図書） ¥650

## 教育実習

汐見稔幸

実習前は実習の意義、心がまえ、授業の本質などについて論じ、実習後は感想等をもとに、よりつつこんで教えることの意義、可能性、教師のあり方などについて考えあう。

## 教育実習

上岡安彦

教育実習事前指導と事後指導との二段階において行なう。

## 教育実習

村山輝吉

教育実習を効果的におこない、教育について望ましい理解と関心を得られるよう、年間を通じて次の事項をあつかう。

1. 教育実習の意義と心得
2. 学習指導について
3. 生活指導について
4. 学校と教師に関する諸問題

現場における実習の体験をはさんで、講義、討議、レポート作成、面接相談、模擬実習等、適宜の方法と形態で構成される。

## 教育実習

坂本信昭

駒沢大学に於ける教育実習は通年履修となっており、おおむね下記のとおりに進める。

○教育実習前の段階では、①教育実習の意義及び目標・内容（領域）に関する講義とそれに並行して、②実習校における教育実習の事例を示し、③教育実習の心得などに関する事前指導を行なう。

○教育実習後には、①各自の実習報告の後、②グループ編成による授業（ディスカッション）を行ない、③問題提起に対するレポート作成（提出）を通して、教育実習の成果としての教育の正しい理解と教職への関心を養う、いわゆる事後指導を行なう。

〔参考書〕大村はま『教えるということ』共文社など、授業で適宜紹介する。

## 国語科教育法

神谷道倫

中学校・高等学校の国語科教育の意義・現況、ならびに学習内容（領域）・教材に即したそれぞれの指導方法等の基礎的な事項について講義。しかるのち実際の教材にあたって、指導事項・指導方法等の研究を深め、実践に際しての指導力を養成する。

〔教科書〕『中学校・高等学校国語科教育法』〔新版〕（桜楓社） ㉶ 880

## 書道科教育法

谷村義雄

書とは何か。中・高校に於ける書道科の教員として必要な知識と、書道をいかに学習するか、その研究法を教授する。

〔参考書〕文部省『芸術科指導要領解説篇』

## 宗教科教育法

松本皓一

宗教科の特質を述べ、宗教科教育を行う上に必要と思われる問題点を拾いあげて考察する。

後半では、教材研究を中心とする。

〔参考書〕必要に応じ指示する。

## 英語科教育法

大沢一雄

各種教授法について述べたあとで、新しい教授法がどうあるべきかを考える。なお、初級から上級までの各段階の英語教授について演習をおこなう。

## 社会科教育法（地理）

中 島 義 一

中学・高校の地理につき、指導計画、指導案の立て方、教材研究、地理クラブ・修学旅行の指導法等につき講じ、後半は授業演習を行う。その際に中学校の社会科教科書を使うが、これについては授業時に指示する。

〔教科書〕 山崎謹哉『地理教育の本質と実践』（古今書院）

## 社会科教育法（地理）

高 木 久

1. 教師としての在り方
2. 地理学方法論の確認
3. 地理教育について
4. 新学習指導要領の内容
5. 地図指導
6. 教育実習の意義
7. 学習指導案の研究
8. 模擬授業

前期において講義を中心とし、後期においては教室での演習を専一とし、その批判・反省を行なっていく。

## 社会科教育法（歴史）

野 呂 肖 生

中学校・高等学校における社会科教育のあり方について、実際に即して考えてゆけるような講義にしたいと考えている。

## 社会科教育法

谷 敷 正 光

社会科は、民主主義の発展と平和的な国家・社会の形成者の育成をめざす上で、重要な使命を負って誕生した教科であり、日本の将来を担ったと云っても過言ではない教科である。しかし、この社会科教育も、戦後日本資本主義発展とともに大きく変遷し、動揺し続けてきた。

したがって、しっかりとした社会科教育を樹立するため、単なる教授方法の技術論ではなく、より基本的な「教育とは何か」といったところまでさかのぼって充分検討してみたい。その上で、社会科教育の基本原則とその内容・方法の把握につとめ、教科担当の専門職としての認識を深めたい。

①戦後日本資本主義の発展と教育、②教育の基本概念、③日本資本主義の発展と社会科教育、④社会科教育の基本概念、⑤中学校・高等学校の教育課程と社会科、⑥社会科の学習指導、⑦学習指導案の作成、⑧中学校社会科の目標・内容、⑨高等学校社会科の目標・内容、⑩教育評価、⑪教育実習のために、⑫教員採用試験の準備と今年度の採用について

(教員採用試験の受験希望者は授業とは別に指導する。)

〔教科書〕 梶 哲夫『中等 社会科教育研究』(1) (高陵社)

遠山 啓『競争原理を超えて』(太郎次郎社)

〔参考書〕 矢川徳光『教育とは何か』(新日本出版新書)

無着成恭『山びこ学校』(角川文庫) その他、若干のルポ、小説、社会科の教科書も使用する。

〔注 意〕 年間かなりの資料を作成配布するので、必ずファイルを用意すること。また年間、数回校外研修(授業参観)などを行う予定である。

## 社会科教育法

古屋野 素 材

我が国において社会科について考えるということは、一教科の問題にとどまらず、必然的に教育問題全体の極めて重要な側面(教育をめぐる政治状況、児童生徒の生活現実と教科の接点等)を深く考察する方向へむかわざるを得ない。当講義では、この点をふまえつつ、社会科に関する歴史的な問題構造を検討し、かつ今後の社会科教育が果すべき役割とその可能性の検討を通じて、教育に主体的にかかわってゆく手がかりをさぐりたい。特に人文・社会科学の諸分野において、各自が専攻する領域で深い学識を得てゆく過程をこそ教職志向のバネとしてゆくことに価値を求め、所謂 Open System の主旨にそって、人文・社会諸科学と社会科の関係にも留意したい。

〔教科書〕 特に用いない。

〔参考書〕 講義の中で紹介する。

## 職業科教育法

中野目 直 明

下記の事項について、教職についた場合に役立つような観点から、具体的事例を取り上げて講義を行う。

1. 現代における職業の意義
2. わが国における職業教育の歴史と課題
3. 職業高校の現状と課題
4. 高校の新教育課程
5. 学習指導案、学習指導計画の作成
6. 外国の職業教育

〔参考書〕 宮地誠哉・倉内史郎編『職業教育』(講座現代技術と教育4) (開隆堂)

1,600円

## 商業科教育法

谷 敷 正 光

「職業教育」の一つである商業教育は、日本の資本主義をささえる重要な一環としてつ

ねに重視され、産業構造の高度化、経営革新にともなうめまぐるしく変遷してきた。そして、今後の高校教育の「多様化」政策の破綻にともなう、再び大きく、軌道修正されようとしている。従って、本講は「職業教育」のあり方そのものが問われている現在、しっかりと商業教育を樹立するため、この「教科法」を商業教育の単なる技術論に終わらせることなく、より基本的な「教育とは何か」といったところまでさかのぼり、本来的な意味での商業教育論、職業教育論を展開し、教科担当の専門職としての認識を深めたい。

①日本資本主義発展と教育・職業教育、②教育の基本概念、③職業教育（商業教育）の概念、④高等学校における商業教育の現状と課題、⑤高等学校の教育課程、⑥商業科の教育課程、⑦商業科目の学習指導、⑧学習指導案の作成、⑨商業教科・科目の個別目標・内容・取り扱い、⑩教育評価、⑪教育実習のために、⑫教員採用試験の準備と今年度の採用試験について（教員採用試験の受験希望者は授業とは別に指導する）。

〔教科書〕 田中義雄『商業科教育論』（多賀出版）

矢川徳光『教育とは何か』（新日本新書）

〔参考書〕 無着成恭『山びこ学校』（百合出版） 遠山啓『競争原理を超えて』（太郎次郎社） 田代三良『高校生』（岩波新書）『いま学校で』（朝日新聞社）その他商業の教科書・新聞の切り抜き、雑誌なども使用する。

〔注意〕 年間かなりの資料を作成配布するので、必ずファイルを用意すること。また年間、数回校外研修（授業参観）などを行う予定である。

## 商業実習

前田幸一

国内を中心とした商業活動と商品取引活動における諸々の事務手続について授業を進めていく。

〔教科書〕 } 講義の際指示する。  
〔参考書〕 }

## 職業指導

山田勇治

学校における進路指導とは、中学・高校の卒業時における就職や進学のみならず、単なる斡旋指導ではなく、個々の生徒の発達段階に応じて、その能力・適性等を伸ばし、生徒自ら望ましい進路を選択・決定させ、その後の職業生活において自己実現できるように指導し、援助する活動をいう。ところが現状では、学力などによる振り分けが横行し、本来あるべき進路指導には程遠い。

そこで、こういった学校進路指導の現状を文部省の実施した実態調査などによって明らかにしてみたい。

また、将来職業につくための準備教育、つまり教養教育についても講述する予定である。

〔教科書〕 山田勇治『会計教育論』（創成社） ¥ 1,300

## 産業概説

和田 禎 一

資本主義経済発展の原動力は、産業革命以後の新しい産業の群生、その変化に負うところが大きい。そこで本講座では、まず産業の概念、産業構造、産業組織を、現代的視点で解説し、それらを基礎に、戦後日本経済の発展に関与した、日本の産業政策を概観、分析、評価することにした。

〔教科書〕 授業にさいして適宜指示する。

## 世界史概説

前田 正 名

東アジア史の概説を中国を中心として行う。殷の国家構造から説きおこし、時期順にしたがって、各歴史時期の政治・経済に重点をおいて説明し、できるだけ文化にも触れたい。一応、宗代まで概説する予定である。

〔教科書〕 前田正名『東アジア史概説』（文化書房博文社）

## 世界史概説

青木 道 彦

歴史的世界としての「ヨーロッパ世界」はどのように形成され、発展していったか。またその形成・発展は世界史的観点からみて、どのような意義をもつものであったか。こうした点を中心に講義をすすめたい。

教科書はとくに指定しないが、この講義を受講する機会に、下記の二つの参考書等「西洋史概説」を一冊よみこなしてほしい。

〔参考書〕 ① 祇園寺信彦編『西洋史要綱』（御茶の水書房）

② 衣笠茂他著『概説 西洋史』（東京創元社）

## 日本史概説

芥川 龍 男

日本の中世に重点をおいて述べる。中世史の主要な問題を取りあげ、史料の解説なども加味しながら歴史研究法の一部を体得するよう配慮する。したがって、積極的な学習態度をのぞむ。一方的な講義ばかりでなく、質問などを通じて交流をもつ授業としてゆきたい。

〔教科書〕 『日本歴史の視点』2, 中世（日本書籍） ¥ 1,800

〔参考書〕 竹内理三『日本史小辞典』（角川書店） ¥ 1,400 定価は改訂されていると思います。



## 地誌学概説

今朝洞 重 美

地誌学の本質論を考察しつつ、前期に日本地誌、後期に外国地誌を講義する。

## 地誌学概説

長 野 覚

世界的視野において、地理学の発達・概念を理解したのち、現代世界の地域的特色の概要を指導する。後期には中華人民共和国を含む幾つかの国を対象に、具体的なその国の地誌を学習する。受講の際は、きでるだけ地図帳を併用することが望ましい。

〔教科書〕 藤岡謙二郎他共著『世界地誌』〔改訂版〕（大明堂） ¥ 1,700

## 地誌学概説

渡 辺 盾 夫

読図の方法を理解したのちに、地誌について各国の地域的な特色を入れて講義をする。受講の際には地図帳を持参すること。

## 自然地理学概説

早 船 元

人間生活の舞台である大地の形成過程について述べ、人間と自然とのかかわりあいについて論じる。

さらに受講生に2.5万分の1、5万分の1の地形図を用意（10枚程度）させ、それらをもとに種々なる作業（土地利用図・切峰面図・帯状平行投影地形断面図等を作成）をさせてより一層の理解を深めさせる。トレース紙・方眼紙・色鉛筆・黒インク等各人用意のこと。

## 人文地理学概説

高 木 久

地理学思想・歴史を述べ、人文地理学の方法論を考察する。「地理的な見方、考え方」の基礎の上に立って、人文地理学の各部門（地図、自然、人文関係）について概説し、人文地理学の理解と関心を深める。

## 社会学原論

金 丸 由 雄

由来科学には絶対的教義はない。あるのは仮設群のみで、それらのうち信憑性の比較的高いものとそうでないもののみである。本講では社会学史上古典と目されるいくつかの理論ないし研究を対象とするが、それらは当然正しいかどうかは問題であるよりも、その扱っている問題の性質、アプローチの仕方、論理的方法、科学的理論としての性格などをこそ、重要な項目として注目するのである。

〔参考書〕 T. パーソンズ『社会的行為の構造』、R.K. マートン『社会理論と社会構造』

## 社会学原論

渡辺源樹

(1)現代社会学における理論と実証の結合、並びに(2)社会集団と人間の問題、という二つの論点を講義の重点に据え、現代社会学の課題とその主要問題をつとめて体系的かつ具体的に講述する。

## 経済原論

小野俊夫

いわゆる近代経済学は、微視的理論と巨視的理論を二大支柱としている。前者は個々の経済主体の分析から出発し、後者は一国全体の経済現象を直接分析することによって、資本主義の経済過程を解明しようとするものである。本講義では、巨視的理論に重点をおくが微視的理論にも注意を払いながら解説し、現代資本主義経済に関する分析力を養うことを意図している。

〔教科書〕 開講の際に知らせる

## 政治学原論

飯山勇

本講は、政治学の基礎理論的部分をとりあげ、その原理的究明に主眼を置いて講義を行なう。特に本講では現代政治についての理解を深める意図から、現代国家と政治過程に力点を置き、そのなかで大衆社会と政治的諸問題、政治過程と政治集団などに触れつつ、さらに主として、政治権力、国家、政治機構などを解明する。

〔教科書〕 飯山勇『政治学要論』（八千代出版）

## 民法 I

雨宮真也

民法のうち、総則・物権・担保物権の分野を講義する。

とくに、民法総則の分野においては、法律を学ぶうえで最も基本的な多くの考え方が現われてくる。たとえば、法律行為（契約も手形行為も法律行為の一種である）とは何か、その成立・不成立、有効・無効などについての考え方である。

三年次以降において、民法Ⅱ・商法・経済法など法律科目を履修しようとする者は、民法Ⅰを履修しておくべきである。

〔教科書〕 雨宮真也外二名共著『民法読本Ⅰ（総則・物権・担保物権）』（高文堂出版社）  
¥ 1,580。なお、来年度『民法Ⅱ』を履修する予定の者は、民法読本Ⅰ・Ⅱの合本である『民法読本（財産法）』¥ 2,350を購入しておくこと、引き続き使用できる。

## 哲学特講 I

篠原壽雄

中国の哲学を考える時に、孔子の占める位置は大きい。儒学は孔子を頂点として発展し

てきた。孔子に対して、老子の議論は形而上学的である。荘子は老子をつぐ。この孔老荘をはじめとして、孟荀韓など先秦諸子の哲学は多彩である。これらの哲学を学び、より思索的である宋明の理学までたどりたい。そして中国人が古来追求してきたものは何か。それは生きている人間とどのようなかかわり合いをもつものか等を学びたい。

〔教科書〕 プリント

〔参考書〕 随時示す。

## 哲学特講Ⅱ

山下 太郎

西洋近世哲学史において一つの顕著な時代を劃したドイツ理想主義の哲学の流れを概観し、とくにヘーゲル哲学の形成と展開とを中心として講義する。またその批判的潮流としてショーペンハウエルの意志哲学にもふれ、哲学における主知主義と主意主義の比較をも試みたい。とりわけ社会哲学の側面に注目し、時代との連関を明らかにすることにつとめる。

〔教科書〕 山下太郎『社会存在の理法—ヘーゲルとショーペンハウエル—』

## 宗教学特講Ⅰ

松田 文雄

—宗教思想および用語の概説—、特に教職単位であることを考慮し、宗教思想の潮流、および宗教思想史上の基本的用語を概説する。今年度は日本仏教を取り上げる。

〔教科書〕 プリント

〔参考書〕 随時指示する。

## 宗教学特講Ⅱ

脇本 平也

—宗教現象の構造—宗教現象は、その内部にさまざまな構成要素をはらんだ複合的な体系をなしている。たとえば、宗教体験、思想・教義、儀礼、教団などの諸契機が構造的に連関しながらこれを形成している。そうした構造の分析と類型化を試みる。

〔参考書〕 適時指示する。

## 宗教学特講Ⅲ

洗 建

現代社会における宗教の問題、すなわち、新宗教運動、世俗化、政教関係などの問題について考える。今年は政教関係にかかわる問題を取りあげ、法的制度とそれを支える価値規範、更にはその底流にある伝統的宗教文化との関係などについて考察したい。

〔参考書〕 その都度、指示する。

## 教 育 史

磯 野 昌 蔵

開講時に指示する。

## 宗 教 教 育

櫻 井 秀 雄

宗教教育の原理を究明し、できるだけ実証的な調査資料によって宗教意識をさぐり、これに対する具体的方法について考察し、家庭・学校・社会教育のそれぞれにおける宗教教育の意義と實際を研究する。

〔教科書〕 日本宗教学会編『現代青少年の宗教意識抄』

## 教育関係法規

汐 見 稔 幸

主として教職を志す人を対象にし、(1)戦後教育体制の確立の経緯と意義を論じたあと、(2)教職を志す人がぜひ身につけておきたい教育法規について概説する。

〔教科書〕 『教育関係小六法』（できれば学陽書房「教育小六法」58年版）

## 書 道 実 習 I

金 子 卓 義

古典の臨書による、筆法、形態などの研究を主に書道全般にわたる基礎知識を学ぶ。

〔教科書〕 ○『書道I』（高校用教科書）教育出版社 ○『中国の書道孟法師碑』（書芸文化新社）

## 書 道 実 習 II

金 子 卓 義

古典の臨書によって書法を学び、表現力を養い、作品製作にまで導く。

〔教科書〕 『書道II』（教育出版社）、『祭経稿、争座位帖』（書芸文化新社）

## 図 書 館 学 I

若 林 元 典 ・ 山 崎 慶 子

児童、生徒の学習活動や教養・趣味を豊かにするには教科書の他に各種の資料を必要とする。最も有効適切な資料は何か、どうしたらそれをすべての生徒に提供できるか、それらを利用する力を高めるにはどうしたらよいか、又人間形成に役立つ読書のあり方等の追求を学校図書館活動として考えて行きたい。

前期の講義内容は「学校図書館通論」と「学校図書館の管理と運用」で、後期は「学校図書館の利用指導」と「読書指導」である。

〔教科書〕 図書館教育研究会『学校図書館通論』（学芸図書）

## 図書館学Ⅱ

若林元典

小・中・高校における教育活動の肉付けとなる教材資料のうちで最も基本的な図書資料を主とし、それに図書以外の資料を加えて、各種資料の収集・整理・利用のために必要とされる知識・技能の修得を目指している。

整理は利用のための整理であり、利用の能率と効果は良質な資料の収集と適切な整理によって裏付けられる。したがって図書館学は収集・整理・管理・利用の全領域にわたる資料運用の学である。

「図書の分類」、「図書の目録」、「資料の選択」、「図書以外の資料の利用」が講義内容である。

〔教科書〕 図書館教育研究会『学校図書館通論』（学芸図書）

『図書館学演習資料 後編』全国学校図書館協議会

## 博物館学

倉田芳郎

学芸員課程の必修科目であり、社会教育主事課程の選択必修科目でもある。「博物館実習Ⅲ（見学）」と有機的に関連をもたせてあるので、同年度に併せて受講していただきたい。また、後期は午後いっぱい使って見学を行うことになるので、時間割を組む上で、各自研究してもらいたい。なるべく2～3年生の時に受けておくことが望ましい。4年生で受けると、学芸員資格を卒業時に取得するのは難かしいかもしれない。本講義は博物館学の基本を講ずるので、この講義を聴くだけで博物館を全く識るというわけにはゆかない。その点からいえば社教主事になる方は、なるべく他の選択科目を受けていただきたい。4月第1週の時間に必ず出席すること。

## 博物館実習Ⅰ（館務）

倉田芳郎・石井則孝

博物館で10日間学芸員について実習を行う。学芸員課程の必修科目である。この科目は学芸員課程の総仕上げでもあり、無条件に、誰でも履修できるわけではないので、年度第1週のこの科目の時間に必ず出席すること。

## 博物館実習Ⅱ（収集）

倉田芳郎・葉貫磨哉  
所理喜夫・加藤晋平

学芸員課程の必修科目である。詳しくは、年度第1週の講義時間に話すので、必ず出席すること。実習の種類・時期は下記の子定である。このうち、1つを履修すればよい。

1. 石仏・文書収集調査 長野・9月下旬
2. 石仏収集調査 長野・10月上旬
3. 考古発掘調査 東京・7月後半

4.       "                               群馬・3月中
5. 遺跡分布調査                       千葉・2月中
6. 遺跡分布調査                       群馬・3月中
7. 個人の特殊テーマによる収集調査 時期は相談

### 博物館実習Ⅲ（見学）

倉田芳郎・鶴丸俊明

学芸員課程の必修科目である。

都内および都周辺の博物館を見学する。博物館・学芸員の使命・役割を識るためには教室の講義だけでは不足である。そのため、現場で学芸員の方のご講義を承り、博物館運営上の諸問題について考えたい。実習は半期行うのであるが、今年度履修しようとする学生は、必ず4月第週に出席すること。

### 博物館実習Ⅳ（特講）

石井則孝

博物館が活動している調査、収集、保管、展示が、實際上どのようなかたちで流れ、広報普及によって、いかに博物館が一般大衆のものになりうるのか、さらに、博物館が大学と同レベルの研究施設として機能していけるのか、過去10年間における博物館建設と運営の経験から実践的博物館学を教え、学芸員という資格をフルに活用できる知識を学ばせたい。日本の博物館のほとんどが、建物→物→人の順序の中で新設されており、人→物→建物へと進む本来の姿に戻すべき基本姿勢なども講義したい。又、博物館が見せるという立場から、企画の重要性面白さ、困難さなども、毎日のように公開されているデパート展などの内容も取り入れて講義する。

### 視聴覚教育

神山順一

(I) 前期は、コメニウス (J・A・Comenius) を始祖とする視聴覚教育の理論について講義をおこなう。とくに E・デール (E・Dale) によって集大成された "Audio-Visual Method in Teaching" を中心とし、とりわけ視聴覚的方法の教育思想に占める意義について歴史的に考察する。

(II) 後期は、視聴覚教育の用具と方法について個別的に検討を加え、各用具の特性を明らかにする。スライド、OHP (オーパーヘッドプロジェクター)、映画、ラジオ、テレビ、録音、録画 (VTR、カセット教材) 等。

さらに以上の理解の上で、ハードウェアとソフトウェア、各教材の制作状況、視聴覚ライブラリー、著作権、自主教材制作などの諸問題について考察する。

〔教科書〕 とくに指定しない。

〔参考書〕 講義の進行にともない随時指示する。

## 日本文化史 Ⅱ

杉山 博

日本文化を創造し発展せしめた基盤を形成した職人層について、中世に残された4つの職人歌合絵巻を中心にして、その具体相を明らかにしたい。

〔教科書〕 プリント使用

## 西洋文化史 I

渡辺 茂

アフリカ大陸の文化史。

- (1) アフリカ大陸文化の前提条件としての自然環境。
- (2) 人類の原始故郷たるグレート・リフト・バレー。
- (3) タッシリ・ナゼールの岩壁画に反映したサハラにおける民族移動。
- (4) 現存するアフリカ最古の人種たるコイサン族とその岩壁画の分布。
- (5) 最初の黒人帝国とその製鉄技術。
- (6) 19世紀以降におけるアフリカ内部の探検史。
- (7) 近代におけるヨーロッパ列強の黒人貿易とその影響。

## 西洋文化史 Ⅱ

阿部 重雄

今年度はまず、1000年間に亘るビザンチン史を展望して、それから、東ヨーロッパの——特にロシア史を中心として——文化の特色を、西ヨーロッパ史の発展と対比しながら講述する。

〔教科書〕 } 追って講義中に指示する。  
〔参考書〕 }

## 仏教美術

金子 良運

わが国の美術はごく近世にいたるまで、直接間接を問わず、そのほとんどが仏教との係り合をもち、その影響下に造形されている。したがってそれを理解するために、単に形式上の特長だけでなく、造形を生み出した背景として、思想的な展開とともに、政治あるいは経済的な推移も併せて考察する。

## 現代美術

中山 典夫

印象主義にはじまる現代美術の流れを、絵画作品を中心にして、追ってゆく。講義にはスライドを用いる。

## 禅 美 術

竹 内 尚 次

禅林美術は、禅宗教団の成立以後の産物で、禅宗教団（叢林）の発生・展開のなかで禅林美術を考へてゆきたい。しかも、もっと広い仏教美術の視野のなかで。

したがって宋元美術でいえば、教団の貴族化とともに伽藍法に傾斜し、道教・浄土信仰・儒教などの要素がはいってくる。

日本美術では、奈良・平安時代の顕教や密教や浄土信仰の美術作品も、当然考えあわせなくてはならない。

したがって、国宝を中心としてそれぞれの時代の代表作品を拾って集中的に一つ一つを考へてゆくことになる。

それも学生諸君が自分の手と足で探究するお手伝いをするだけである。

〔参考書〕玉村竹二『夢窓国師』（平楽寺書店）、『国宝』（毎日新聞社）、『水墨美術』（講談社）

## 美 術 史 概 説

杉 山 二 郎

本校は曹洞宗に縁由があり、仏教文化、仏教美術について一般的な知識はもちろん、僧侶に必要な図像学的知識（Buddhist Iconography）を含めて、諸君に教授してみたい。日本仏教美術史といった内容で、仏教文化の受容前期から天平時代を本学年のうちに講じてみる。朝鮮、中国、中央アジアの仏教文化をも常に参照し、その遺物遺構をスライドを通じ、また時に博物館を見学してその美的享受をも示唆したいと考えている。

〔参考書〕講義中に逐次呈示するが、杉山二郎著『大仏建立』学生社を参照のこと。

## 西 域 美 術 史

杉 山 二 郎

今やシルク・ロードのブームが巷間に満ちTVに及んでいるが、仏教東漸の道として、東西文化交渉史の交点として存在する中央アジア・西アジア地域の各民族の興亡と、彼等の残した遺物、遺跡を中心に一年間論及してみたい。なかでも沙漠とオアシス都市のメカニズム（印度、西方極楽浄土の起源論、地獄観の発生と展開など）を中心に、西アジア諸宗教、遊牧民社会と農耕民社会の美術に及ぼした影響問題など克明に追究論及してみたい。

〔参考書〕講義中に逐次あげるが、杉山二郎著「正倉院」 瑠璃書房刊と「西アジア考古美術誌」NHK ブックスをとくに参照のこと。

## 考 古 学 概 説 I（日本）

倉 田 芳 郎

考古学研究の基礎知識を身につけるように、という点に立って講義をする。今年度は、ヨーロッパの考古学の発達に重点をおいて話す予定である。歴史学科学生にとっては、概説の選択必修科目である。また、学芸員課程の学生にとっての選択必修科目でもある。年



度第1回目の授業には必ず出席してほしい。特に教科書は使わない。

## 考古学概説Ⅱ(外国)

飯島武次

本年の考古学概説Ⅱ(外国)は、東洋(中国、朝鮮、東南アジア)における考古学研究について講義する。

〔参考書〕江上波夫『考古学ゼミナール』(山川出版)、文物編集委員会『中国考古学三十年』(平凡社)

## 考古学特講Ⅰ

後藤和民

### ○縄文時代の社会

1. 縄文時代の主体者——(1)縄文人種論 (2)原日本人論
2. 縄文土器の研究——(1)土器型式論 (2)土器製作技術
3. 縄文時代の生産技術——(1)狩猟技術, (2)漁撈技術, (3)縄文農耕論, (4)干貝加工, (5)製塩, (6)交易の問題
4. 縄文時代の集落——(1)集落の捉え方, (2)集落の定義, (3)集落の立地, (4)集落の定着性 (5)居住形態の変遷
5. 縄文時代の社会規制——(1)埋葬形態, (2)牙齒形態, (3)装身具, (4)特殊遺構, (5)特殊構物, (6)集団領域
6. 縄文時代の共同体——(1)共同体の捉え方, (2)特殊埋葬, (3)大型貝塚と小型貝塚, (4)集落間の分業, (5)交易, (6)食人論批判, (7)戦争のない社会, (8)共同的社会

## 考古学特講Ⅲ

坂詰秀一

仏教考古学について講じる。仏教考古学は、西欧における聖書考古学とともに宗教考古学の一分科として位置けられているが、その組織化は日本において試みられてきた。本講では、かかる現状を踏えて、仏教考古学の概念をめぐる問題、研究の学史的展開、組織の具体的内容について触れることにしたい。

## 日本民俗学

山折哲雄

柳田国男と折口信夫の仕事を日本現代史の流れのなかで位置づけ、その文学的性格と思想的意味を吟味してみようと思う。

〔参考書〕山折哲雄『霊と肉』(東大出版会)

## 仏教民俗学

和田謙寿

文化財の集いや郷土史研究会などに臨んだ場合、必ず仏教文化的な知識が必要となってくる。また、葬式や法事などに出かけると必ず仏事などに関する質問を受けるものである。このような場合に対処できるように、冠婚葬祭のうち、とくに、葬祭面に重点を置いて、今年の講座を進めて行きたいと思う。なお、実地巡検や特殊ゼミを実施することがあるので、年額1～2万円の費用を用意する必要があると思う。

〔教科書〕 和田謙寿『仏教の地域発展』—民俗学・歴史学的考察—（仏教民俗学研究会）

¥ 2,600

## 宗教人類学

佐々木宏幹

まず宗教人類学の成立史と構成内容・方法について概説し、のちに個別の課題を取りあげて解説する。対象地域を東・東南・南アジアの民俗社会に限定し、それらにおいて営まれている宗教現象と社会生活とのかかわり合いについて考える。呪術的方法と科学(医術)的方法との関連などについて最近の成果を紹介する。学生諸君からも地域社会で行われている儀礼・慣行などについて意見を述べてもらう。

〔参考書〕 佐々木宏幹『人間と宗教のあいだ』（耕土社） ¥ 1,500

## 社会福祉概論

原田信一

社会福祉という言葉も、近ごろではごく一般的日常用語として普及し、安易に使用されるようになってきている。ところで、真の社会福祉学とは一体どんな学問なのであるのか、本講においては、社会福祉学の基礎概念をふまえて、まず、主として福祉学を広義視点から講述し、さらには各論面（児童福祉、老人福祉、障害福祉、地域福祉等）にふれ、併せて方法論（ケースワーク、グループワーク、スーパービジョン、コミュニティオーガニゼーション等々）についても体系的に講述する。

〔教科書〕 } 開講時に指示する。  
〔参考書〕 }

## 障害福祉論

原田信一

主として、わが国における心身障害児(者)福祉の発展過程をその淵源にさかのぼりつつ講じたい。なかでも、とくに、思想面（社会的規範）と政策面等の二面的視角にたち、原点を探るとともに、さらに欧米先進諸国のそれとの対比から、わが国の心身障害福祉の見直しをはかり、新たな課題構築の素としてもらう。

〔教科書〕 星野他編『障害福祉論』（有斐閣）

〔参考書〕 林邦雄他『心身障害児(者)福祉』（田研出版）

## 社会福祉実習

原田 信 一

これまで自らが、大学の場において学びとってきた福祉の学問を、実習現場において、実際の福祉従事体験とを通して福祉の本質の一端を学びとってもらう。一方大学では、実習前と実習後に、オリエンテーション、現業機関の組織、機能等を実践に即した概説などをトータル的に教導し、反省・討議をもあわせて行う予定である。また、実習にのぞむにさいしては、各自が、実習の目的を適確にとらえ、何をとくに実習するかの問題意識を整理し実習にのぞんでもらうことについては今更言うまでもないことである。

〔教科書〕 橋本泰子他編『社会福祉実習』（相川書房）

## 地域福祉論

岡田 真

「地域住民に“根廻し”をするにはどうすべきかを論ずる授業である。“根廻し”はなぜ施さなければならないのだろうか。それは、ケースワークやグループワークを、現実の住民生活のなかに定着させるためである。

①地域福祉の基本課題。②コミュニティ・ケア。③コミュニティ・オーガニゼーションが、本講の内容であるが、第①のテーマはそのまま地域問題論である。従って、同じ担当者の都市社会学を、ともに知ってくれることが望ましい。（もちろんろん本講だけを履修する人に不利や理解困難が生じないように細心の工夫はするが）

〔教科書〕 岡田真『コミュニティ・ワーク論—地域を根廻しする一』（大明堂）

〔参考書〕 岡田真『都市化日本の学歴社会』（大明堂）

園田泰一『現代コミュニティ論』（東大出版会）

## ケース・ワーク論

高橋 重 宏

ソーシャル・ワーク実践の専門技術の一つであるソーシャル・ケースワークについて、まず、ソーシャル・ワークの概念、歴史的展開過程、基礎的知識、関連理論、ケースワークの原理、ケースワークの過程等について入門的概説をする。さらに、ケースワークの臨床事例を紹介し、ソーシャル・ケースワークとは何かが体系的に理解できるようにつとめたい。

〔教科書〕 高橋重宏・宮崎俊策・定藤丈弘編『ソーシャル・ワークを考える』（川島書店）小松源助・山崎美貴子編『ケースワークの基礎知識』（有斐閣）

## グループ・ワーク

松本 栄 二

社会福祉実践の基礎としてのソーシャルワークについて考えてゆく。特にグループをソーシャルワークにおいてはどの様に利用し、展開してゆくのかに質点づけた内容となる。

医療の場におけるグループワーク、収容施設におけるグループワーク、行政サービス

機関、例えば、児童相談所や、精神衛生センターにおけるグループワーク等、具体的実例を提供しながら講義をすすめる予定。

## 社会調査

川本 勝

社会調査は、社会事象や社会的現実を科学的、実証的に把握し、分析するための研究方法であり、直接現地調査によってデータを蒐集し、それを分析することに特色がある。

したがって、まず理論と調査との関係を考察した上で、社会調査を企画し、実施し、データを分析する手順にしたがって、その過程で用いる技法を具体的な例を示しながら講義する。

講義科目ではあるが、仮説の説定や調査票を作成するなど、2、3の作業を行いレポートの提出がある。

〔参考書〕 福武・松原編『社会調査法』（有斐閣）

安田三郎『社会調査ハンド・ブック』（有斐閣）

## 児童福祉論

原田 信一

今日、児童をめぐる法律・制度は整備され、社会福祉分野においても、いちじるしい進歩をみた。しかし、現実面では必ずしもそうとばかりはいいきれない。つまり、日々、目まぐるしく激動する社会で、引切り無しに生起する種々の児童福祉侵害問題に対応しきれない状態が今日の姿である。児童の人権無視にはじまり、公害・家庭崩壊・機能低下など限りなく現出し、まさしく児童福祉の危機的様相をみせている。そこで、本講においては、児童福祉を広い視座から考察し、児童への理解と併せて、児童に関連ある法制度にも言及しさらに、狭義の児童福祉事業（児童福祉法など）の関連にもふれ講じてゆきたい。

〔教科書〕 原田信一『現代児童福祉学』（学文社）

## 老人福祉論

浅野 仁

1. 老人問題の背景
  - 1) 社会、経済的状况
  - 2) 心身の状況
2. 老人福祉施策の現状と課題
  - 1) 施設サービス
  - 2) 在宅サービス
3. 老人のための処遇方法
  - 1) 個別処遇
  - 2) 集団処遇
4. 諸外国の老人福祉

〔教科書〕『図説老人白書』1981年版（碩文社） ¥ 2,600

## 社会福祉事業史

小 沼 正

わが国近代的社会福祉事業の発達を歴史的に解明するために、先ず英米に例をとりたい。そこでは、どのような時期に、どのような主体（中央政府、地方自治体、民間団体など）で、どのような対象に、どのような方法で進められていったか、そしてそれらに対する住民の意識と対応がどのように変っていったか、などが問題である。

つぎにこれを下敷きにして、とくにわが国明治維新以降の歴史を考察していきたい。

〔参考書〕 右田紀久恵・高沢武司・古川孝順『社会福祉の歴史』（有斐閣選書）  
 小山路男『西洋社会事業史論』（光生館）

## 社会福祉法制

高 橋 政 美

本講では、日本国憲法第25条の考察をてはじめに、社会福祉関係法（福祉六法を中心とする）全体にわたる概要の把握を主たる目的とする。

〔教科書〕 小川政亮『社会事業法制』（ミネルヴァ書房）

## 公的扶助論

林 千 代

貧困は、どのような時代においても人々の生活をおびやかす基本的なかつ切実な要因である。公的扶助への理解は、この貧困についての考え方を明確にさせることから始まるといえる。そして社会保障制度の中で、現実最後のよりどころとなっている生活保護について、その考え方、系譜、制度内容現実態にわたって述べる。公的扶助は、他法との関係、医療や障害、老後保障の動向とも深くかかわりをもつものであり、このような点からも考えたい。

〔教科書〕 未定

〔参考書〕 小沼正『貧困——その測定と生活保護』（東京大学出版会）  
 籠山京『公的扶助編』（光生館）

## 社会保障論

小 沼 正

先ずわが国現行制度のうち医療保障、年金保険、公的扶助、児童手当などについて、その問題点を取上げる。

ついでこれらをふまえて、その生成と発展に視点をにおいて、欧米諸国をも含めて、社会保障の体系、社会経済的条件、財政などについて、論点を進めていきたい。

必修科目（とくに社会福祉コース専攻者において）に準ずるものとして、できるだけ2年次に履修することが望ましい。

〔参考書〕 小山路男・山本正淑編『社会保障教室』（有斐閣選書）

## 精神医学

植村 肇

前期には精神の健康（精神保健）、精神医学・精神衛生の歴史、大脳の構造と生理学的機能などを基礎に精神機能の異常性、精神障害の原因と行政施策、精神障害の診断と治療心身相関などの大要を述べ、更に精神医学の進歩と課題にも触れる。

後期には各論的に離婚・嗜癖（慢性中毒）、自殺、非行・犯罪などの適応障害と精神薄弱、性格異常、神経症、精神病などの精神障害について、具体的に説明する。

〔教科書〕 植村肇『現代人のための精神保健』（ぎょうせい） ¥1,600

## 社会教育概論

長浜 功

前期は社会教育にとらわれず、日本の教育の問題について論及したい。その基礎をふまえて後期において社会教育の本質と問題を論ずることとする。

〔教科書〕 長浜功『日本ファシズム教師論』（大原新生社）

## 社会教育方法論

上岡 安彦

人間形成の過程を広い視野の下に方法論として論究してみようとする。

〔教科書〕 ノバート・ウィーナー（池原・鎮目訳）『人間機械論』 ¥1,600

## 社会教育行政財政

長浜 功

できるだけ社会教育の現場の話を具体的に紹介し、そこにおける社会教育実践の問題の分析を行う。

〔教科書〕 長浜功『社会教育の思想と方法』（大原新生社）

## 教育社会学

村山 輝吉

人間の発達という課題を、主として社会環境と文化の変容という視点から考察する。

1. 教育社会学の性格
2. 社会化と教育
3. 家族の訓育機能
4. 仲間集団と人間形成
5. 学校の陶冶・形成機能
6. 地域社会と教育
7. 文化の変容と子どもの発達
8. 現代の教育制度・政策と子どもの発達

## 社会心理学

水原泰介

この講義では、社会的知覚（印象形成、帰属など）、社会的影響（同調、態度変化など）、対人関係（協力、競争、援助、攻撃など）、集団力学（集団構造、リーダーシップなど）について、これまでの社会心理学的研究が、どのような方法を用いて、どのようなことを解明しているかを解説する。そして、これらの研究によって明らかにされた諸原理の社会生活への応用について考察する。

〔参考書〕 水原泰介『社会心理学入門』（東京大学出版会）

## 社会教育施設

村山輝吉

1. 社会教育施設の意義
2. 社会教育施設の歴史と現状、関係法規
3. 施設各論  
(1)公民館 (2)公共図書館 (3)博物館 (4)その他
4. 施設職員の問題  
公共図書館を重点にとりあげて考察する。

## 児童教化

北田耕也

- 1 明治の少年期と立身出世主義
- 2 大正芸術教育運動と「子どもの発見」
- 3 生活綴方教育と子どもの社会認識
- 4 戦後教育と子どもの共存感覚
- 5 現代の教育・文化状況と子どもの問題

〔参考書〕 } 講義の進行にしたがってそのつど指示する。  
〔教科書〕 }

## 青少年問題研究

和田謙寿

中学校や高等学校の教師をめざす者。または、青少年の指導者を志す人々を対象とし、その理論と現実の両者をつみつつ講義をして行きたい。特に学校の教師となる場合は、専攻した学科は当然なこと、受持ちクラスの生活指導にも多大な比重で尽くさばならぬ。その点に深く留意して授業をすすめる事にする。（更に深く研究をしようと思掛ける者は、青少年問題研究室の研修生として入室されるのも一方法であろう。）家庭内暴力の問題、校内暴力、青少年の薬物乱用、暴走族、青少年の異性問題など、種々社会の問題としてとりあげられているが、これらの問題も時間の許す限り取り組みたいと思っている。

〔教科書〕 和田謙寿『少年補導の研究』（全国防犯協会） ¥ 1,500

## 青少年指導演習

和田謙寿

国や地方公共団体が年々増加する青少年の非行化に対応して万全の策を尽くしているが、焼石に水の現状である。この種の問題は理論だけでは済まされぬものではなく、現実面からの考察が必要である。将来、少年補導員や青少年補導員、民生委員（児童委員）社会教育主事や福祉主事、生活指導教諭に従事しようとする人たちには、ぜひとも必要な講座である。最近の新聞報道によれば、現在の学校教師や福祉主事の仕事を果すためには、青少年の非行化は正指導に通じていなければ用をなさないと言われている。この線に沿って、少年補導学、ケース・ワークを中心に考察して行きたい。

〔参考書〕和田謙寿「補導必携」（創作出版社） ¥ 850

## 社会教育演習

上岡安彦

社会教育主事その他社会教育の職員を目指すものに対し、見学、現場実習、討議研究により、社会教育の実際に関する知識、技術を会得させようとする。



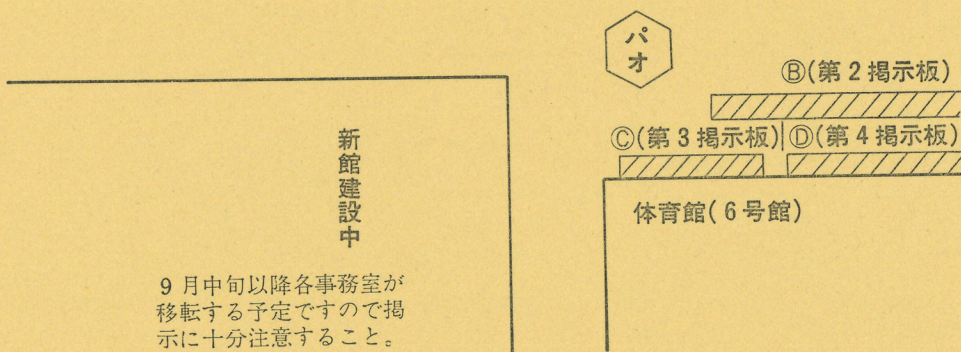
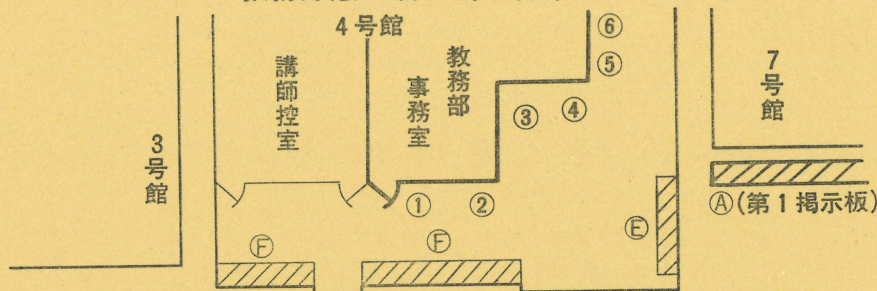








## 教務部窓口及び掲示板案内



9月中旬以降各事務室が  
移転する予定ですので掲  
示に十分注意すること。

学 務 課 ①番窓口……

学則・履修要項・入試・転部科・編入学・休講・卒業  
証書・研究室・教材教具・時間割・教場

教 職 課 程 ②番窓口……

教員免許・社会教育主事・社会福祉主事・学芸員・  
学校図書館司書教諭

教務課第一 ③番窓口……

履修届・学業成績・試験

証 明 書 ④番窓口……

成績証明書・卒業(見込)証明書・学士証明書・一般  
教養科目修了(見込)証明書・単位修得証明書

教務課第二 ⑤番窓口……

大学院・卒業論文・演習

学 籍 ⑥番窓口……

学籍移動・身上関係諸届(休学願・退学願・復学願・  
改姓名・本籍地変更・保証人変更)・聴講・在籍証明書

①………公示・告示その他連絡事項

④………研究室専用

②………学部別連絡事項その他

⑤………休講掲示板(当日分)

③………休講・教職

⑥………授業時間表カウンター

